


※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

- 取扱説明書は、必ず施主様へお渡しください。
- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

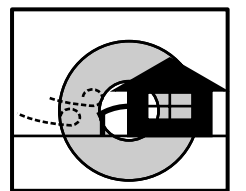
※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

■設置条件

- それぞれの地域に対応したテラスをお選びください。
一般地域600タイプ→耐えられる積雪量の目安20cm相当 [600N/m² (61.2kg/m²)]
一般地域1500タイプ→耐えられる積雪量の目安50cm相当 [1500N/m² (153.0kg/m²)]
一般地域3000タイプ→耐えられる積雪量の目安100cm相当 [3000N/m² (305.9kg/m²)]
- 本製品は、タイプ・サイズごとに設置可能な階数が決まっています。下記の表に従って取り付けてください。

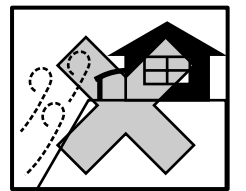
サンクテラスFタイプ 上止めタイプ	1階	2階	3階
3・4尺	○	○	関東圏のみ○
5・6尺	○	○	×
7~15尺	○	×	×

- 柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
- 母屋の屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により製品が破損するおそれがあります。
- 風当たりの強いところでは風が抜けなくなりますので、テラスの周囲を囲わないでください。
- 崖っぷちなどの高低差のあるところには設置しないでください。



■躯体への固定

- タッピンネジは柱・間柱・胴差し等の構造材に必ず止めてください。躯体位置が分からない場合、および躯体が強度保持できない場合は取付けしないでください。
- 躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打ち合わせをし、必要に応じて補強してから取付けください。
- プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから絶対に行わないでください。
- タッピンネジの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。



■部材の固定

- 組立てネジ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。また、使用中ゆるまないように締め付けてください。

■施工時の足場について

- 施工時は必ず足場を設け、転落などの危険がないようにしてください。

■基礎について

- 基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- 海砂は水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。
- 施工前に調査を行ない、地下埋設物(給排水管など)に影響をおよぼさないようにしてください。
- 寒冷地では凍上線より下まで柱を埋め込んでください。凍上により浮上するおそれがあります。
- 柱を基礎で固定する場合には水抜きできるよう、柱基礎に必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴(φ6)をあけてください。柱内部にたまった水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- 養生期間は十分(4日~1週間以上)にとり、その間は、重たいものをのせたり、振動を与えたりしないよう指示してください。

■パネルについて

- 屋根パネルは当社指定品をご使用ください。
- 屋根の取付けは垂木へののみこみが左右均等になるようにしてください。パネルが強風により、飛散するおそれがあります。

■施工上について

- 施工は専門業者が行なってください。
- みだりに改造・変更をしないでください。
- 前枠の内観右側にブランドラベル(商品名シール)が張ってあります。間口切り詰めをする際は、ブランドラベル(商品名シール)がなくならないようにしてください。
- 当社指定の付属品以外は取付けしないでください。

※製品腐食のおそれがありますので下記事項を厳守してください。

■絶縁処理

- アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

※水漏れのおそれがありますので下記事項を厳守してください。

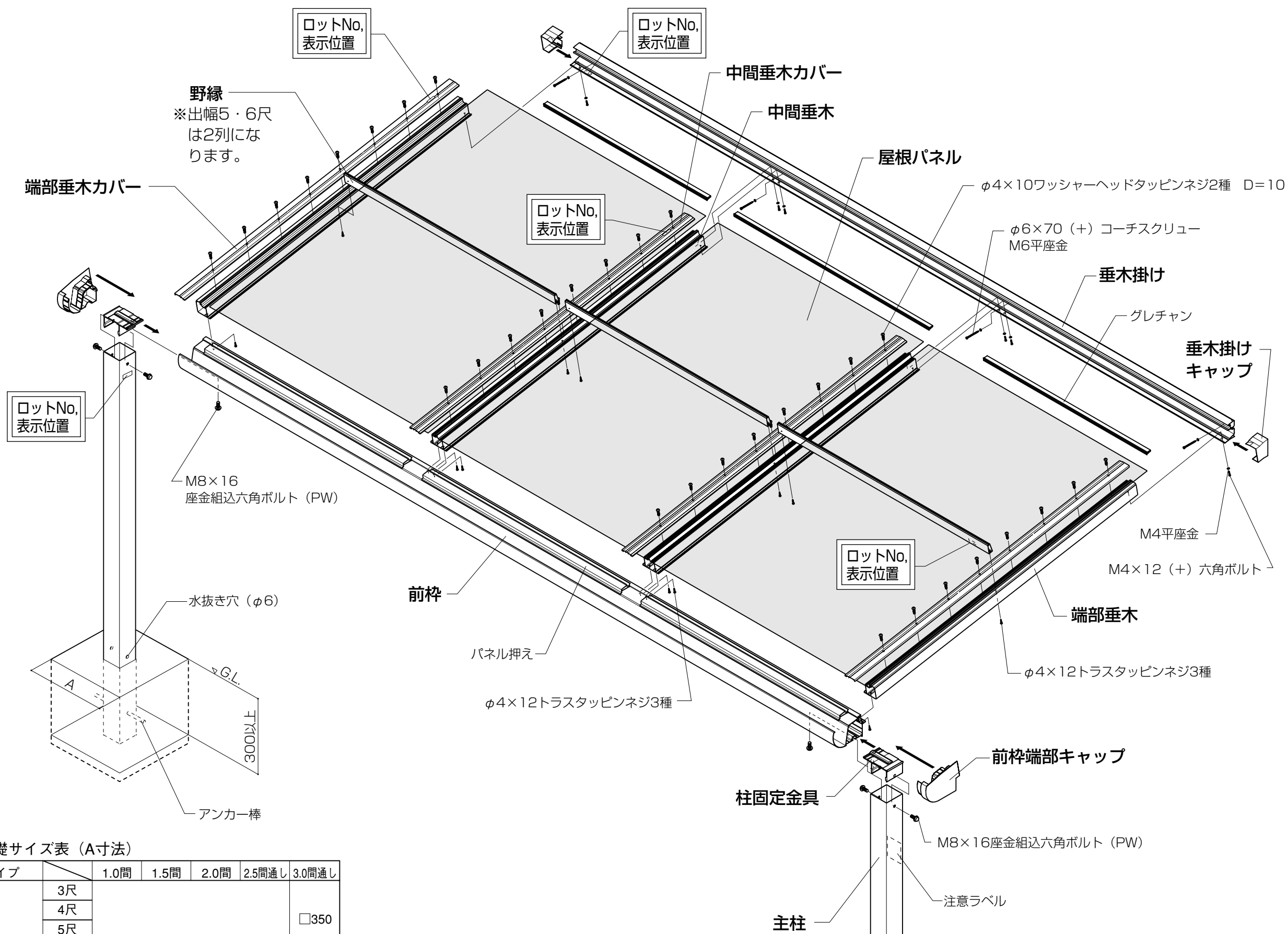
■シーリングについて

- シーリングは指定個所に必ず行なってください。
- 外壁の上から部材を取付ける場合は、シーリング材を下穴に充てんしてからネジ止めしてください。

■施工上のお願い

- 水平・垂直は、水準器などで正確に出してください。

※図は、600タイプ間口1.5間、出幅4尺を示します。



■基礎サイズ表 (A寸法)

タイプ		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し	3.0間通し
600タイプ	3尺	□300				□350
	4尺					
	5尺					
	6尺					
	7尺					
	8尺					
1500タイプ	9尺	□300				□500
	10尺					
	12尺					
	15尺					
	15尺					
3000タイプ	3尺	□500				□550
	4尺					
	5尺					
	6尺					

※本説明書は下表○印のサイズについて説明しています。

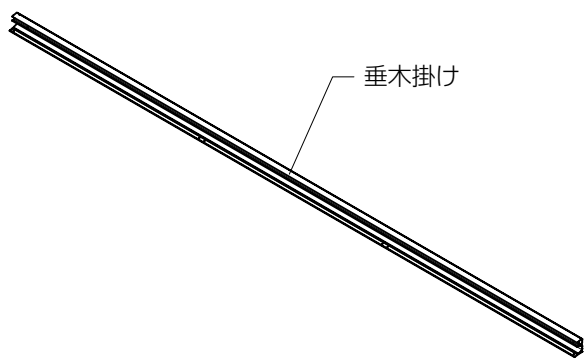
600タイプ	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し	3.0間通し (関東間のみ)
3~6尺	○	○	○	○	○
7~10尺	-	-	-	-	-
12・15尺	-	-	-	-	-

1500タイプ	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し (関東間のみ)
3~6尺	○	○	○	○
7~10尺	-	-	-	-

3000タイプ (関東間のみ)	1.0間	1.5間	2.0間
3~6尺	○	○	○

■取付け手順

1 垂木掛けの固定



■取付け詳細

1 垂木掛けの固定

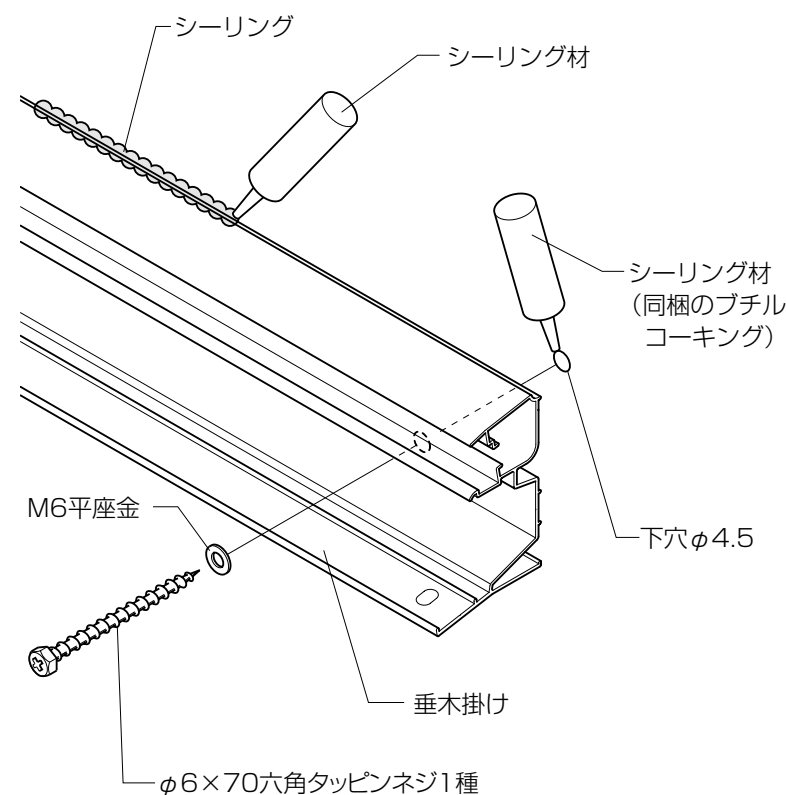
①垂木掛けを躯体に取付ける際、必ず水準器で水平を出してください。

▲注意

- 垂木掛けは必ず躯体の柱・間柱などの構造材に取付けてください。
- 躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打ち合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- 指定の個所に必ずシーリングしてください。

【関西間・九州四国間の場合】

関西間・九州四国間の場合、垂木掛けに躯体取付け用の穴はありません。柱および間柱の位置に合わせて、φ6.5の穴をあけてください。



2 柱の位置決め

2 柱の位置決め

＜柱を基礎で固定する場合＞

※注意ラベルが必ず内側にくるように設置してください。

①柱埋込み位置を出し、基礎穴を掘ります。柱の位置は右図と9Pの納まり図を参考に決めてください。

②柱が倒れないように仮固定してください。

▲ 注意

- 桁仕様で施工する場合は、桁の分だけ柱を深く埋め込むか、柱を切断してください。

＜柱を造り付けバルコニーに固定する場合＞

※注意ラベルが必ず内側にくるように設置してください。

①柱の下部に柱キャップを図のように取付けてください。

②部品の取付け

躯体に柱壁付用固定部品を取付けます。

▲ 注意

- 柱壁付用固定部品は必ず、柱・間柱などの構造材に固定してください。
- 躯体位置が分からない場合および躯体が度保持できない場合は取付けしないでください。

※固定部品の間は600mm以上あけてください。

③柱の仮止め（垂直出し）

1.柱に上側の部品固定穴をφ8（貫通穴）で加工してください。

2.柱を上側の部品に取付け、垂直を出して、ネジで仮止めます。

④柱の固定

1.下側の部品にあいている穴に合わせ、φ8（貫通穴）をあけます。

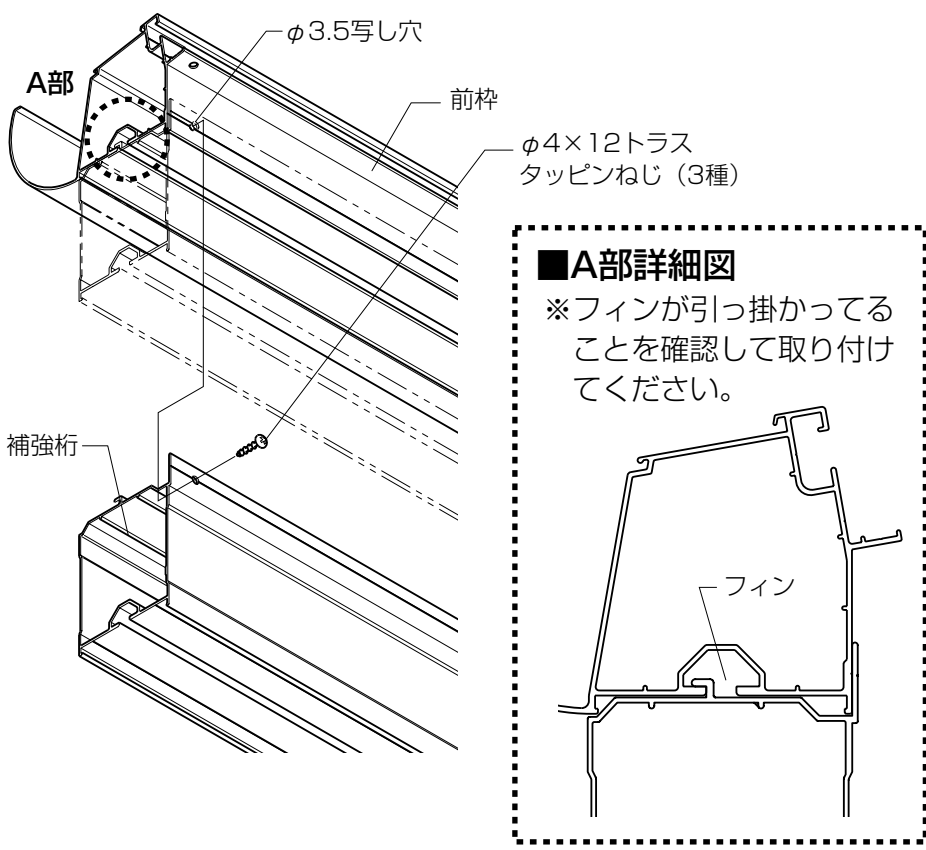
2.ボルトで柱を固定します。

▲ 注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。

3 前枠・補強桁の取付け

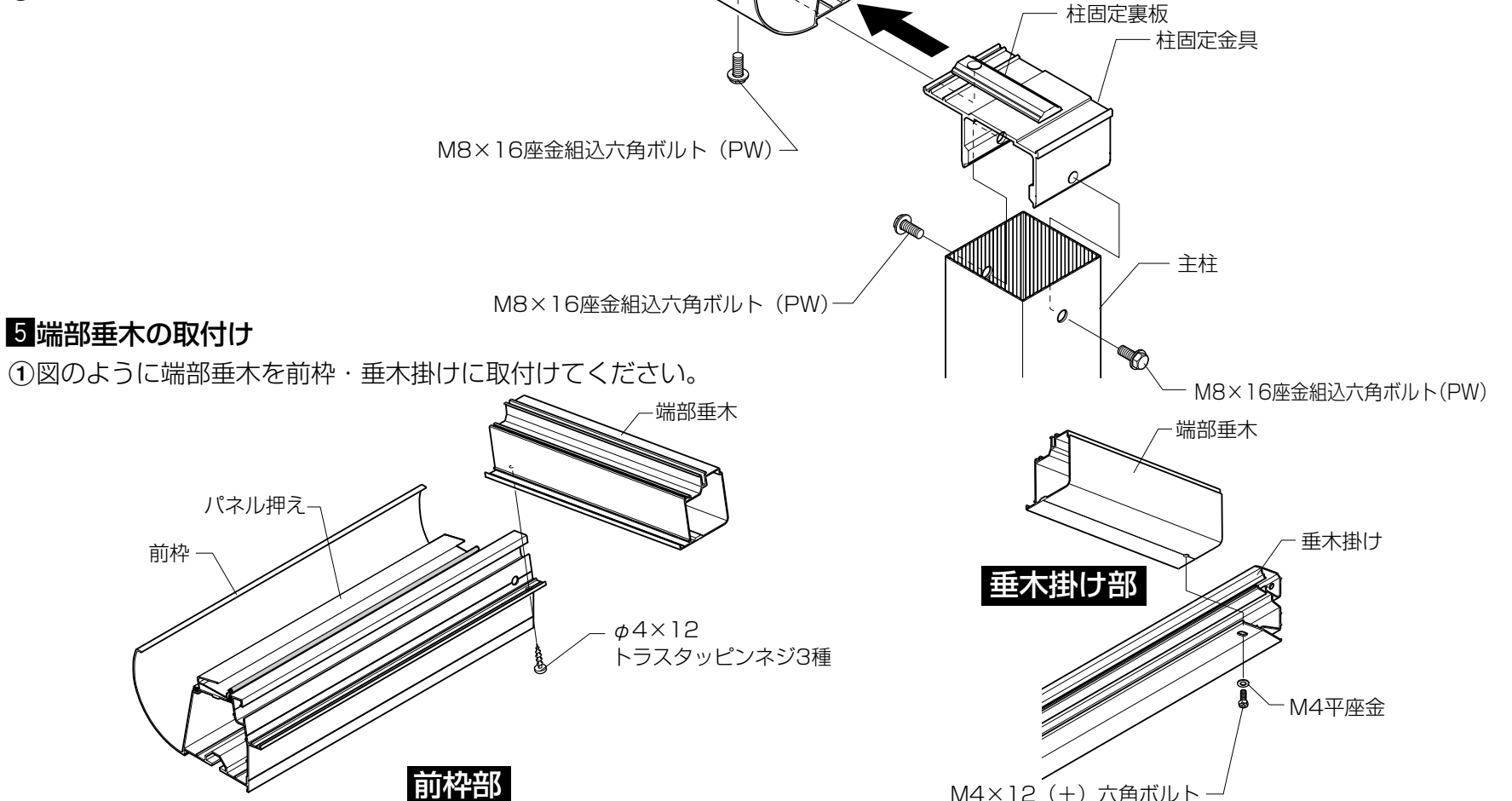
①前枠にφ3.5の写し穴をあけた後、前枠と補強桁を取り付けてください。



4 柱・前枠の取付け（600タイプ 1.0～2.5間通し）

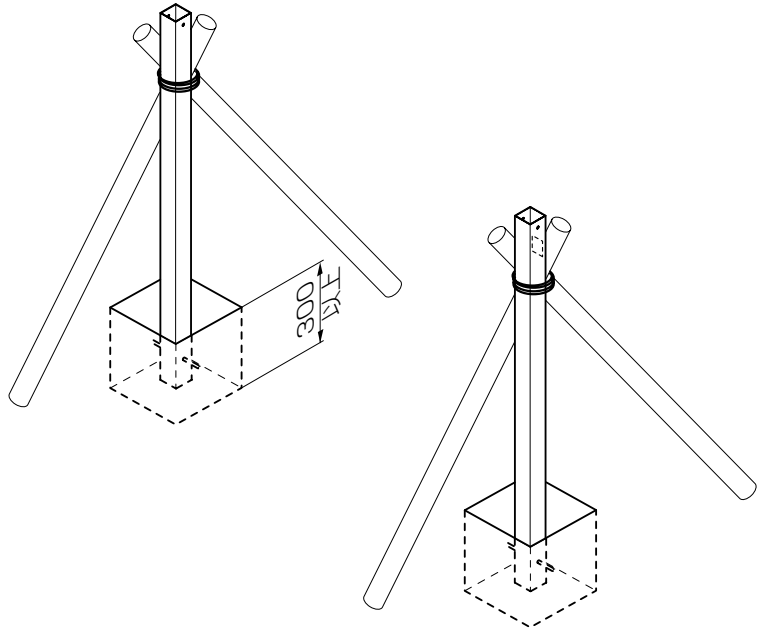
①柱固定金具を柱固定裏板に引っ掛けたまま前枠の溝に挿入し、ボルトで仮固定してください。5の端部垂木を取付けた後、直角を出して固定してください。

②柱固定金具を柱に差込み、固定してください。



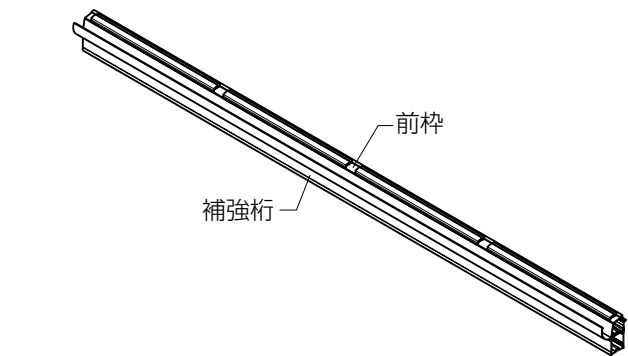
5 端部垂木の取付け

①図のように端部垂木を前枠・垂木掛けに取付けてください。



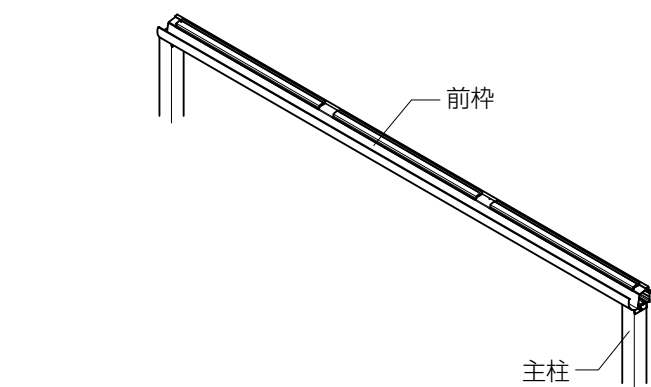
3 前枠・補強桁の取付け

（600タイプ、3.0間通し）
（1500タイプ、2.5間通し）
3000タイプの場合



4 柱・前枠・補強桁の取付け

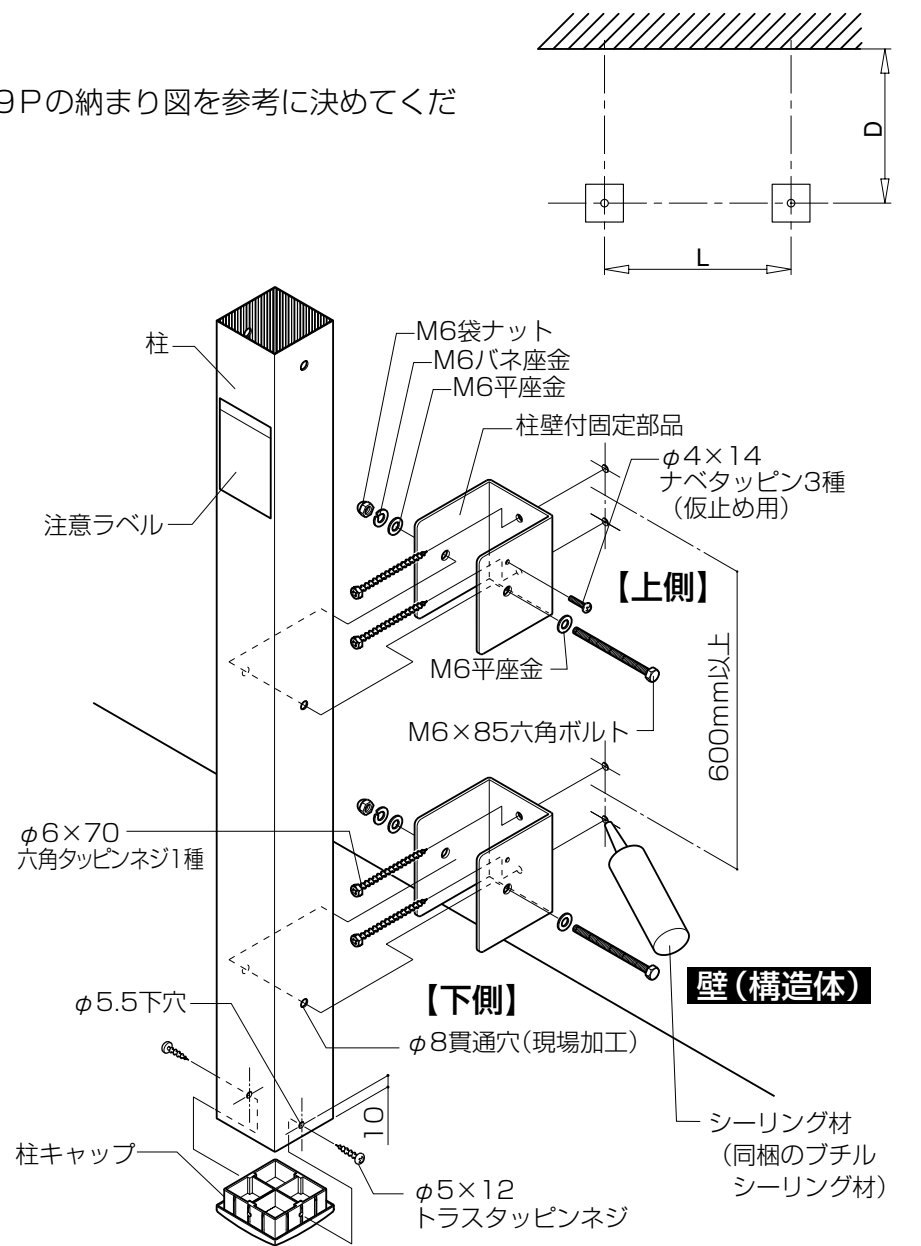
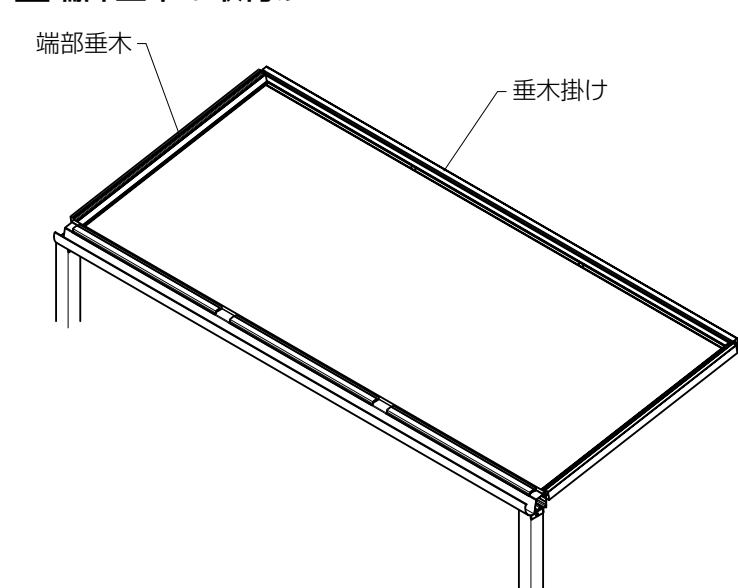
- ①柱固定金具と前枠・補強桁の固定
- ②柱固定金具と柱の固定



▲ 注意

- 前枠の内観右側にブランドラベル（商品名シール）が張ってあります。間口切り詰めをする際には、ブランドラベル（商品名シール）が残るように切り詰めてください。

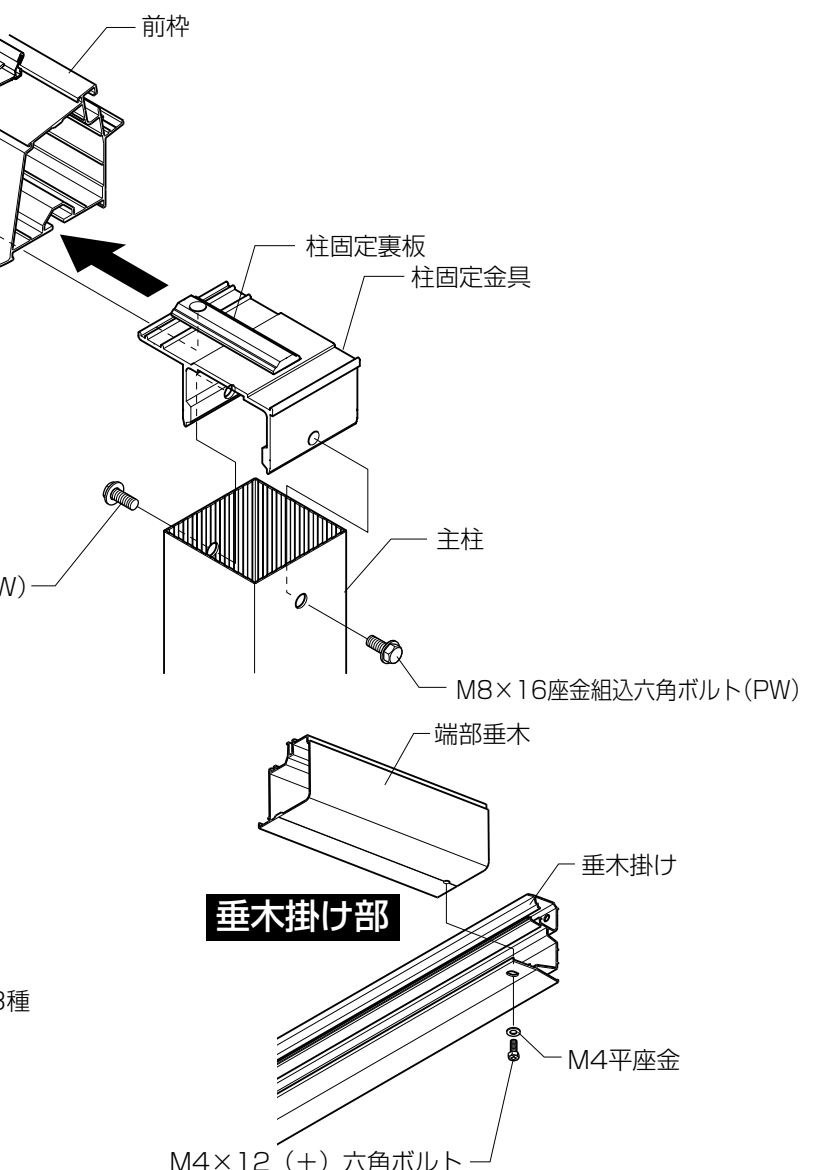
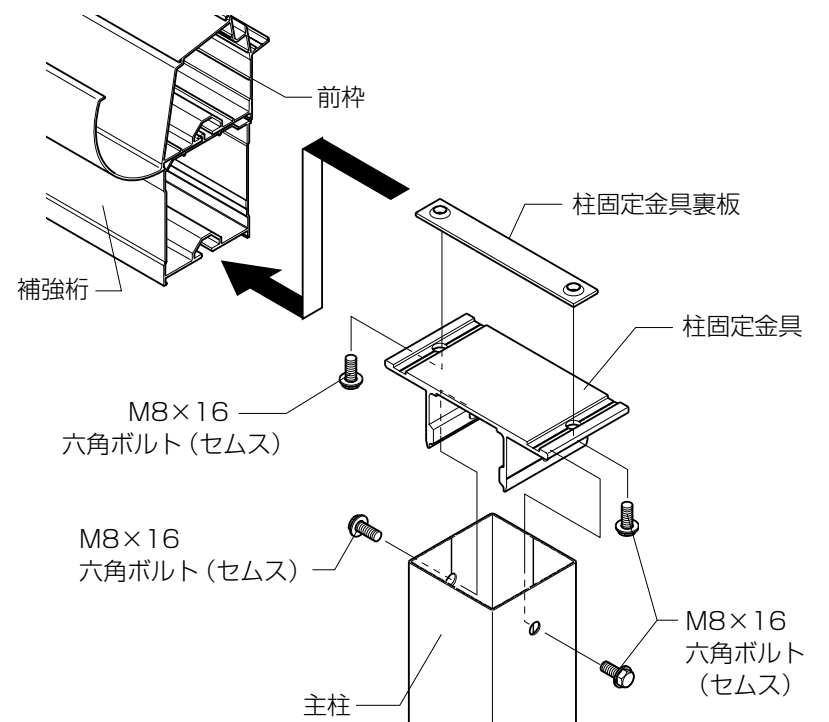
5 端部垂木の取付け



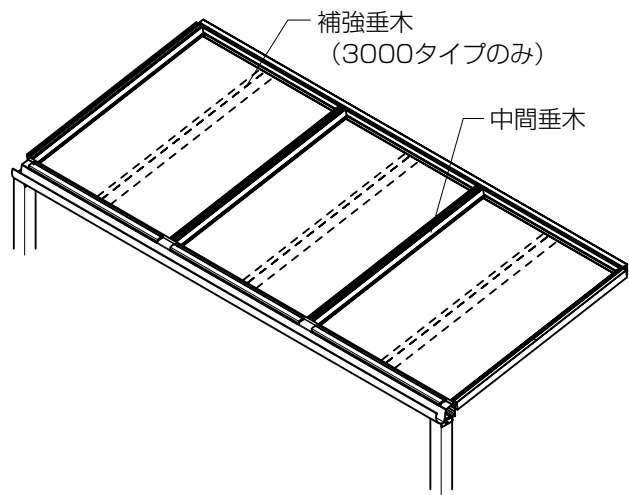
4 柱・前枠・補強桁の取付け（桁仕様の場合）

①柱固定金具裏板を補強桁の溝に挿入し、柱固定金具とボルトで仮固定してください。5の端部垂木を取付けた後、直角を出して固定してください。

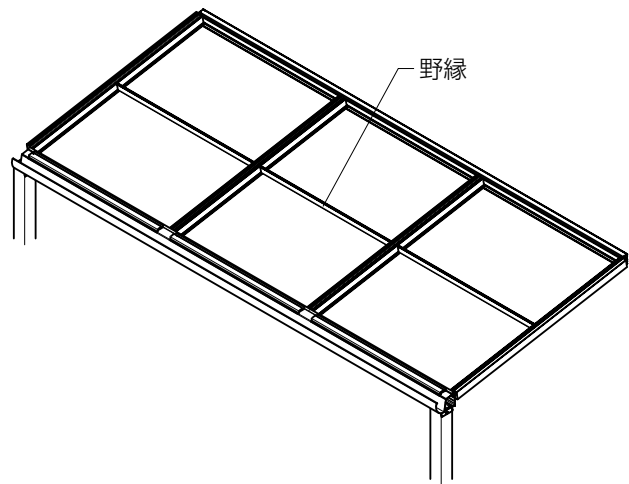
②柱固定金具を柱に差込み、固定してください。



中間垂木・補強垂木の取付け

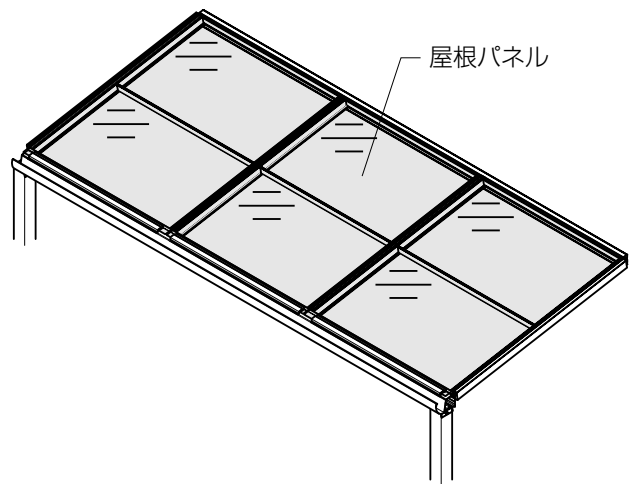


野縁の取付け

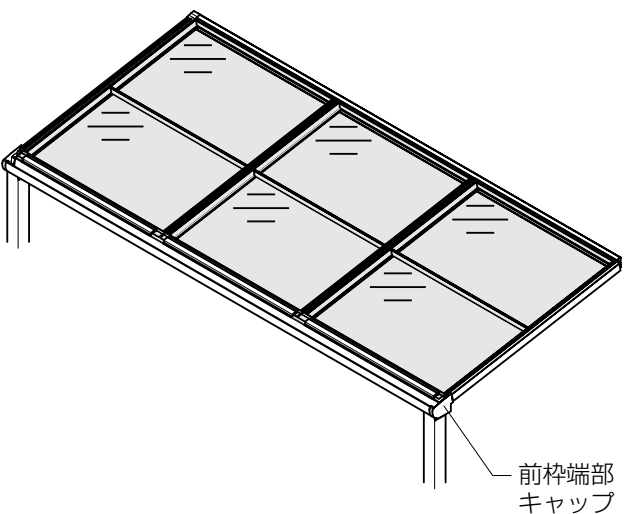


屋根パネルの取付け

- ① パネル押えの位置合わせ
- ② 屋根パネルの取付け

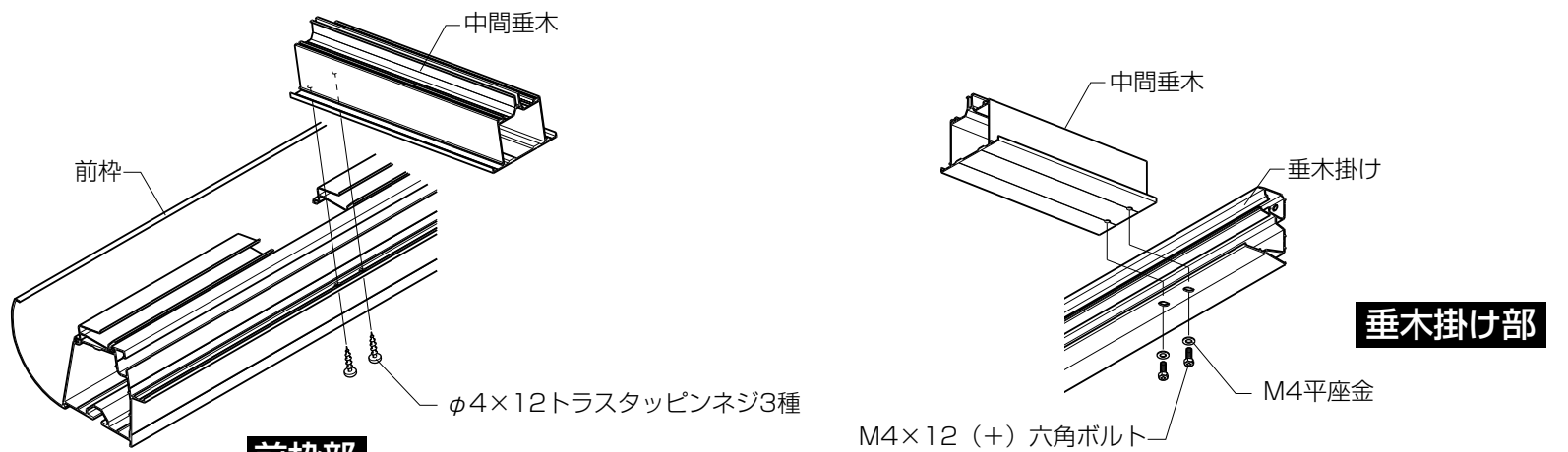


キャップの取付け



中間垂木・補強垂木の取付け

- ① 図のように中間垂木を前枠・垂木掛けに取付けてください。

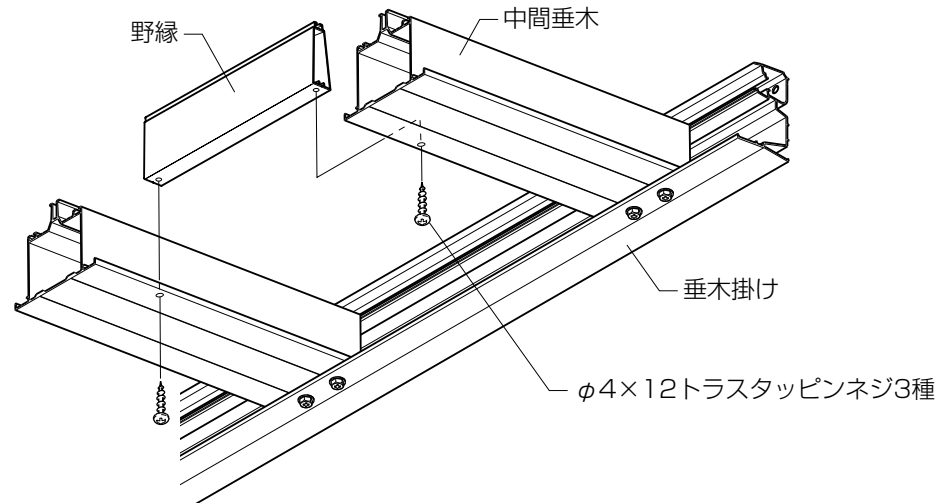


■補強垂木の取付け (3000タイプのみ)

- ※補強垂木は中間垂木同様に前枠・垂木掛けに取り付けてください。
- ※補強垂木は中間垂木と交互に取り付けてください。

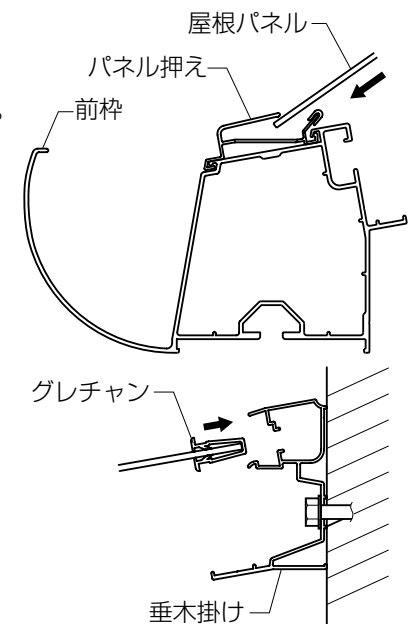
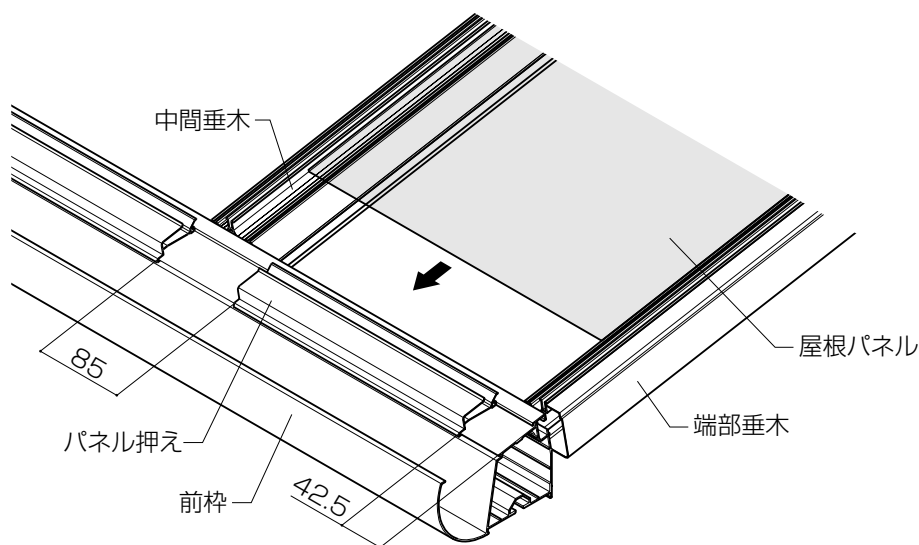
野縁の取付け

- ① 真中のスパンから順に図のように野縁を垂木または端部垂木にネジ止めしてください。



屋根パネルの取付け

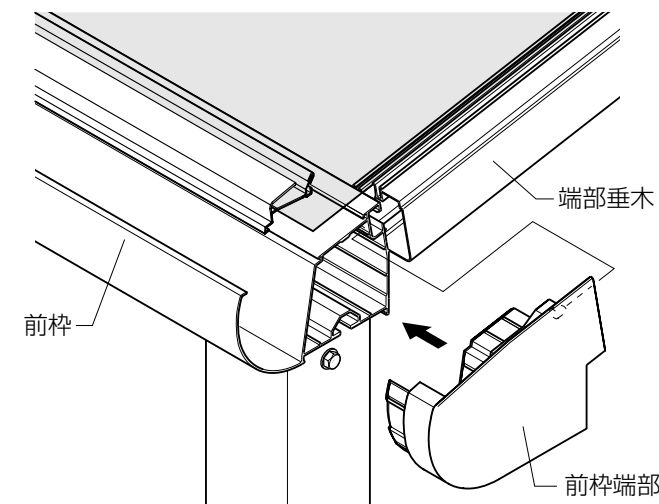
- ① 屋根パネルの取付け前に屋根パネルの養生シートをはがしてください。
- ② パネル押えを図の位置に合わせます。
- ③ グレチャンを取付け、図のように垂木掛け、前枠パネル押え部に取付けてください。



キャップの取付け

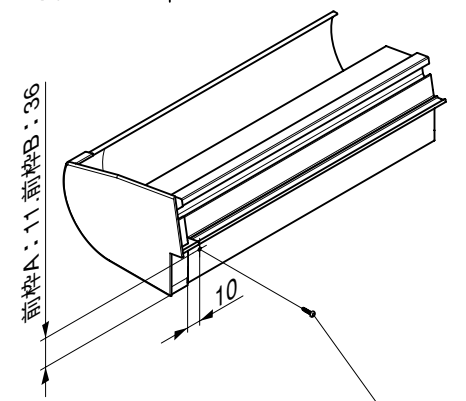
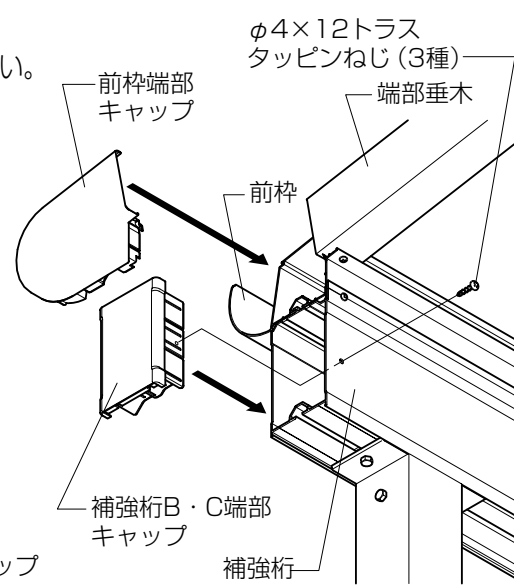
- ① 前枠端部キャップにシーリングした後、補強桁 (補強桁付きの場合) と前枠に取付け、さらに前枠内部にシーリングしてください。
- ② 図の位置にφ3.5の穴をあけてキャップをネジで固定してください。

※補強桁付きの場合、キャップを補強桁にねじ止めしてください。

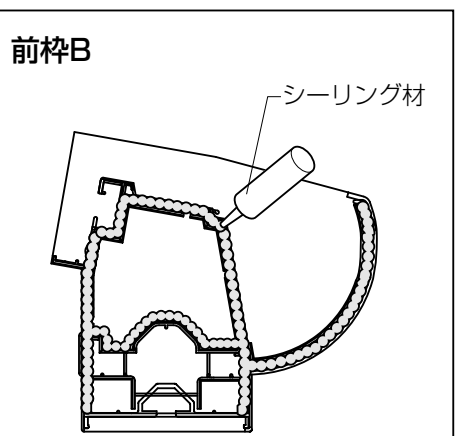
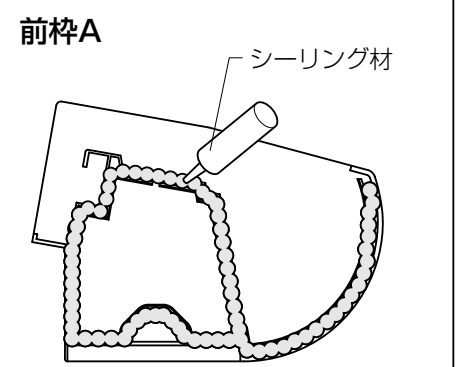


キャップの取付け

●補強桁の場合

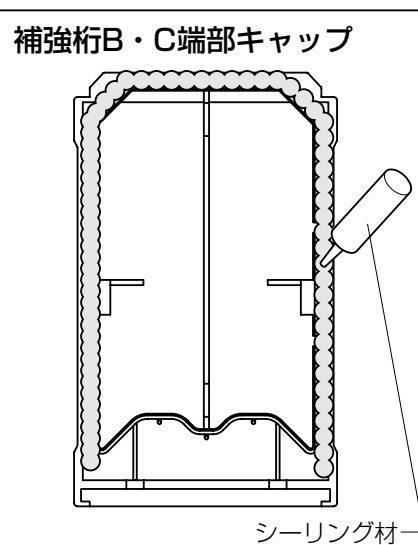
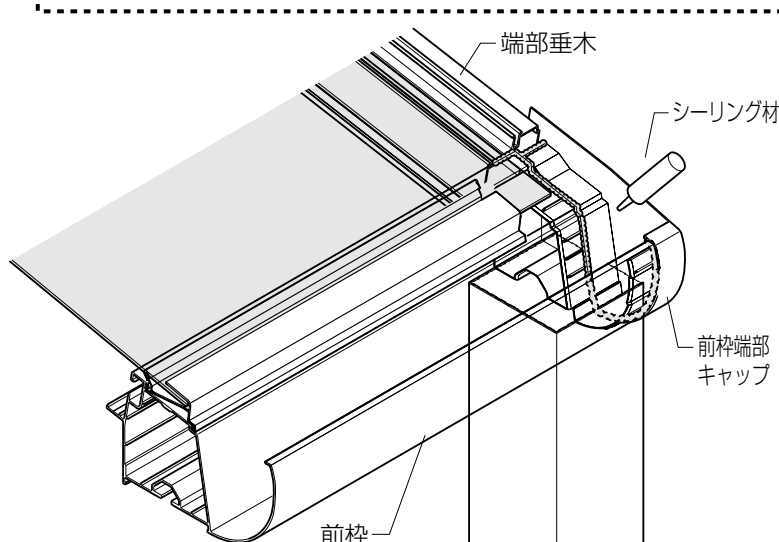


前枠AとBの区別は下図を参照してください。

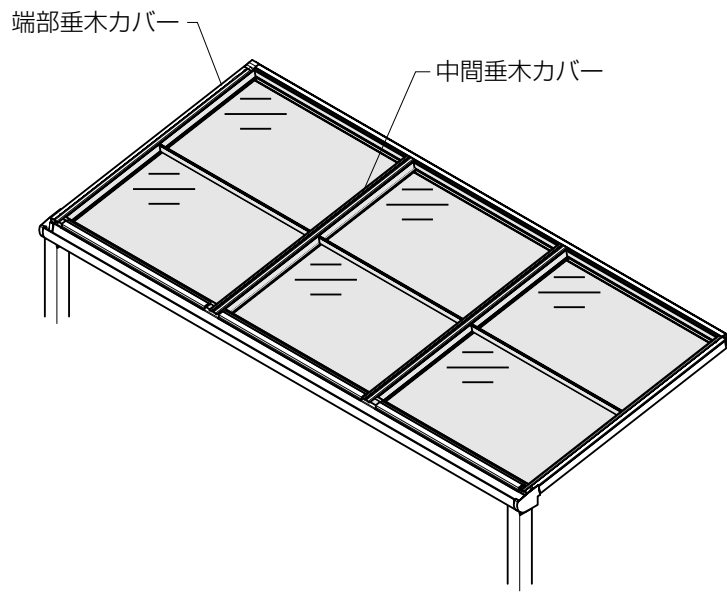


▲注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。

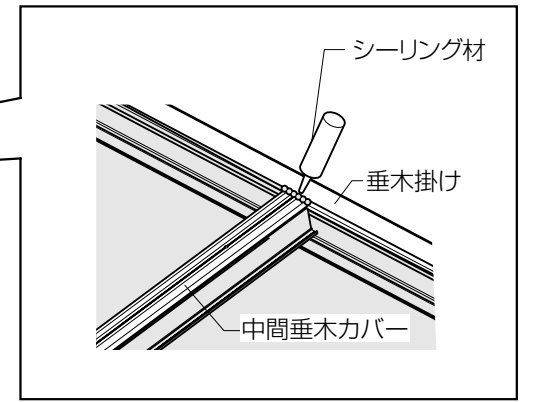
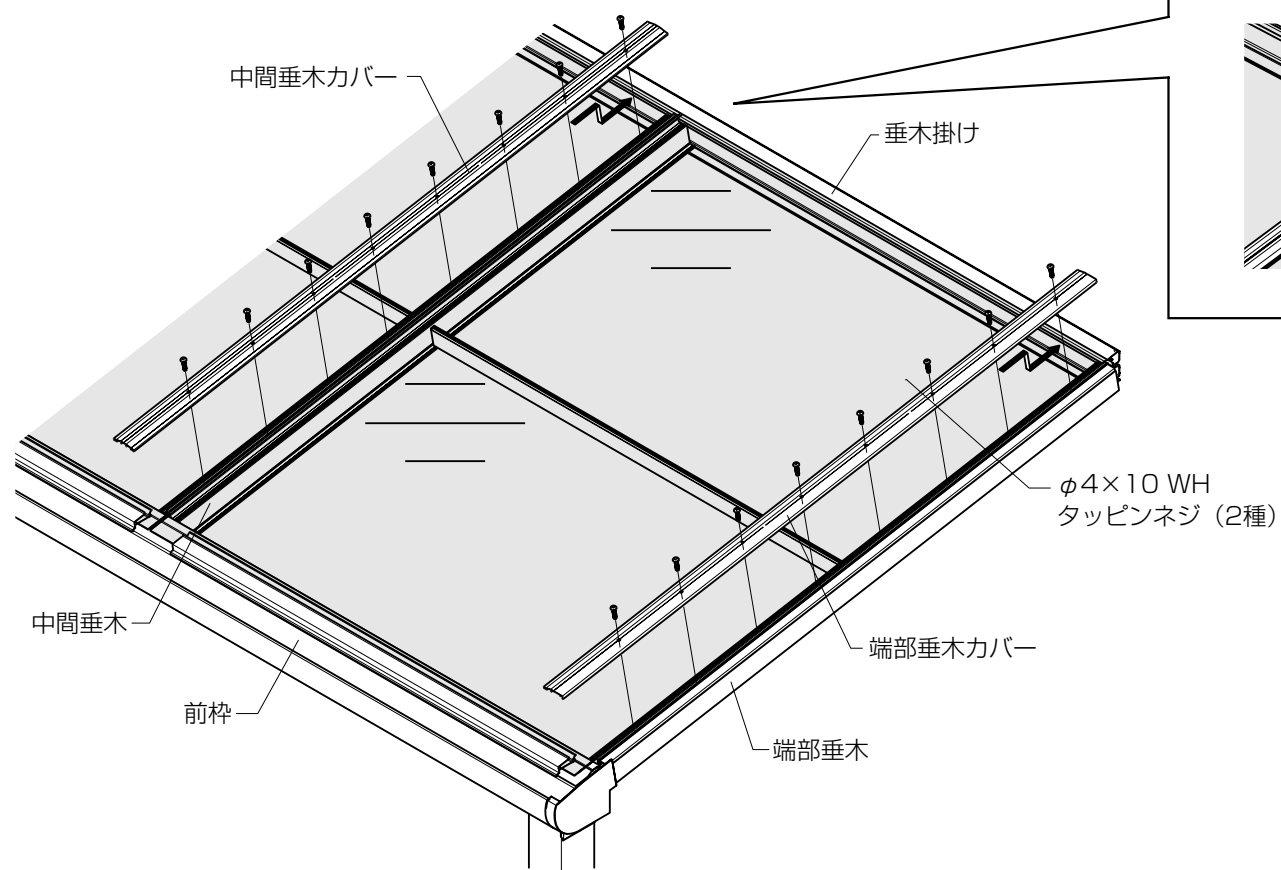


10 垂木カバーの取付け



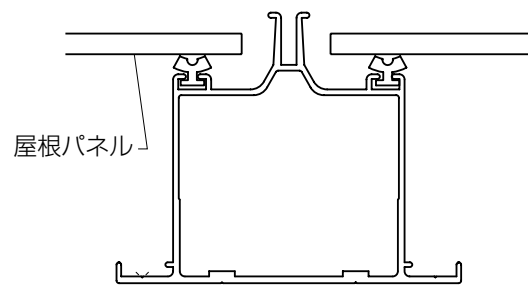
10 垂木カバーの取付け

- ① 垂木カバーを垂木掛け側から押し込み、図のようにネジ止めしてください。
- ② 図のようにシーリングしてください。



▲ 注意

- 屋根の取付けはパネルのみこみが左右均等になるようにしてください。

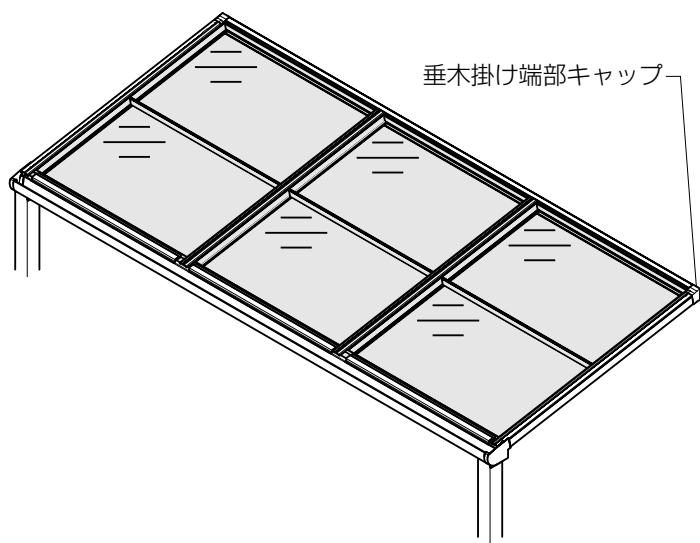


▲ お願い

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
- シリコンシーリングを行なう場合、アクリル板およびポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。

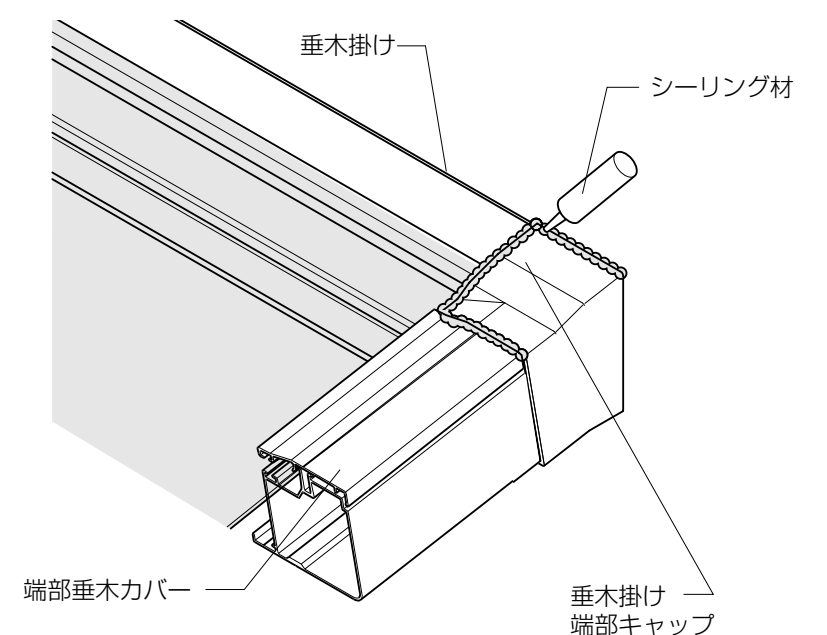
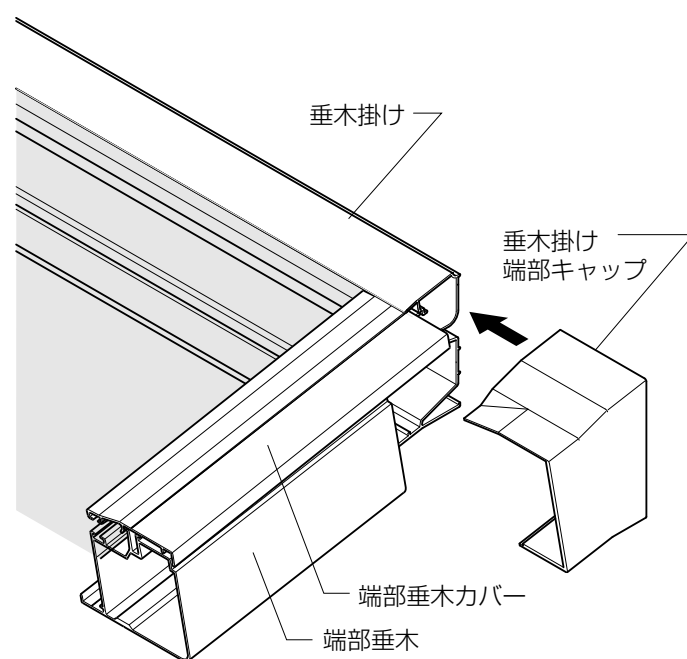
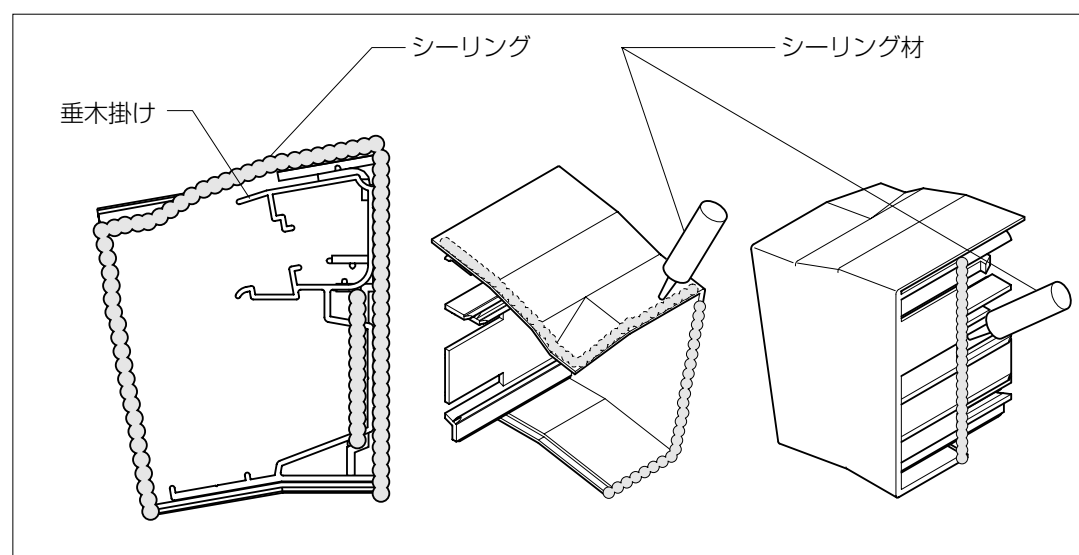
- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコン トスシール380
- ・トーレシリコン SE960

11 垂木掛け端部キャップの取付け

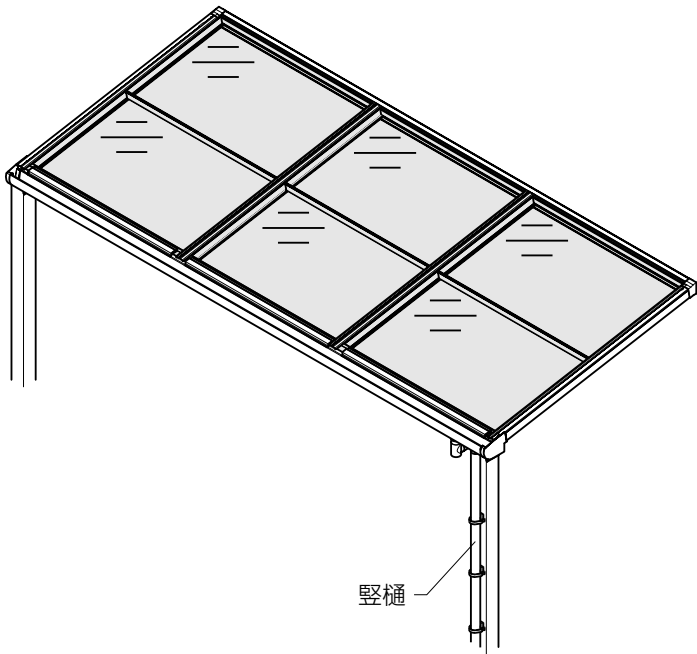


11 垂木掛け端部キャップの取付け

- ① 垂木掛け端部キャップにシーリングした後、キャップを取付けてください。

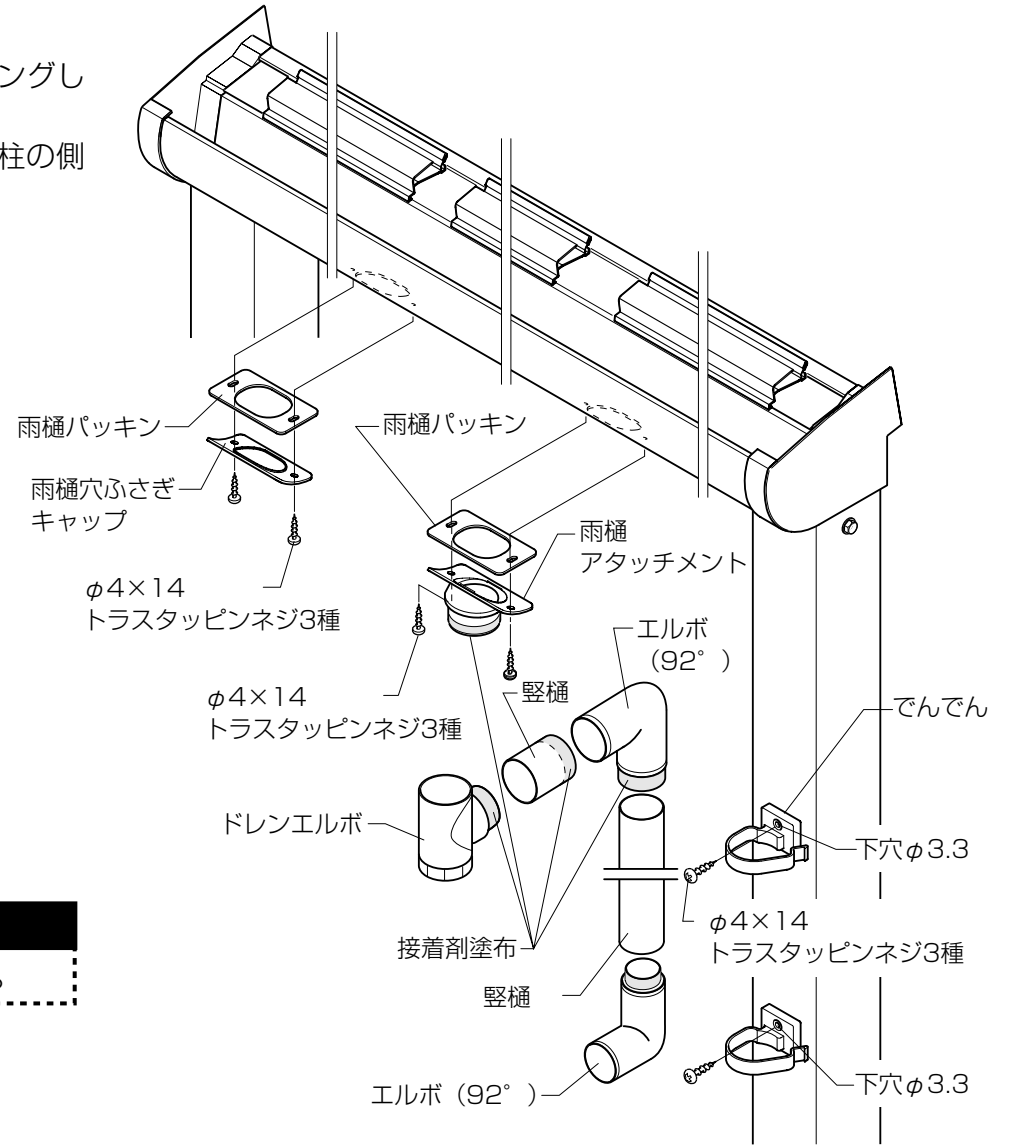
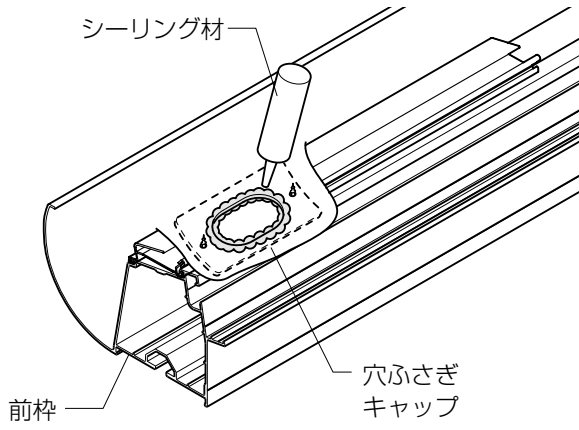


12 雨樋の取付け



12 雨樋の取付け

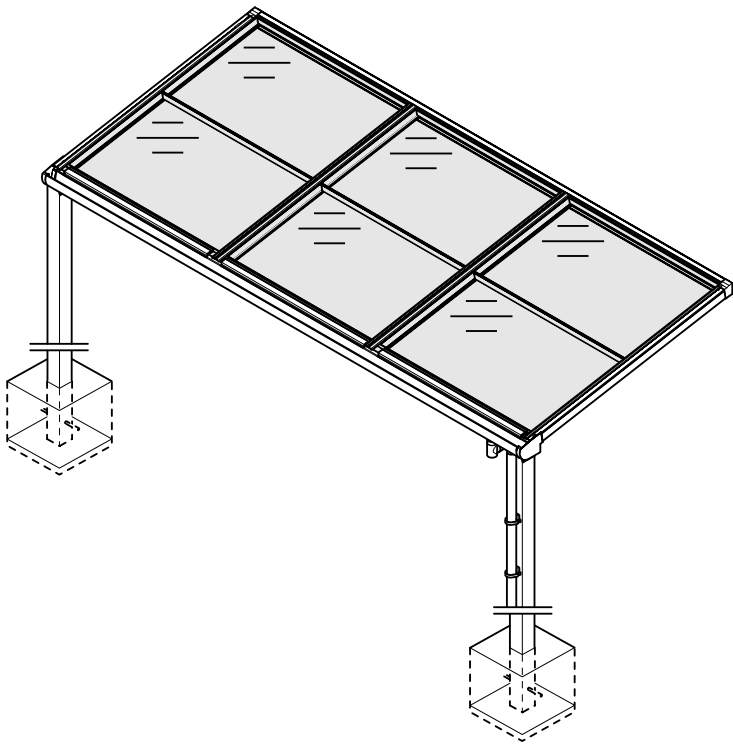
- ①図のように雨樋部品を取付けてください。
 - ②雨樋穴ふさぎキャップ取付け後、図のようにシーリングしてください。
- ※前面スクリーン（オプション）を取付ける場合は、柱の側面に縦樋を取付けてください。



▲ 注意

●指定の個所に必ずシーリングしてください。

13 柱（基礎）

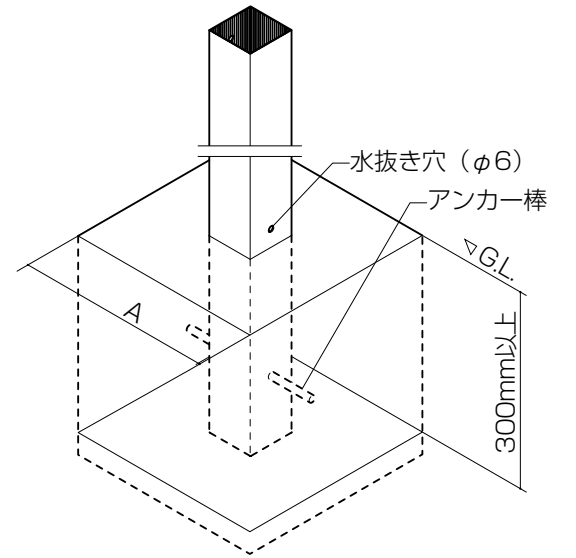


13 柱（基礎）

- ①図の寸法で、柱埋込み穴をコンクリート（またはモルタル）で埋めてください。
※A寸法は2/12の基礎サイズ表をご覧ください。
※基礎に水がたまりやすい場合は、基礎自体に水こう配をつけてください。
- ②柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。

▲ 注意

- 地下埋設物（給水管など）に影響をおよぼさないようにしてください。
- コンクリート（またはモルタル）に急結材は絶対に使用しないでください。
- 海砂はアルミを腐食させるおそれがありますので、水洗いしたものをご使用ください。



■横材の取付け（関西間・九州四国間6尺サイズの場合）

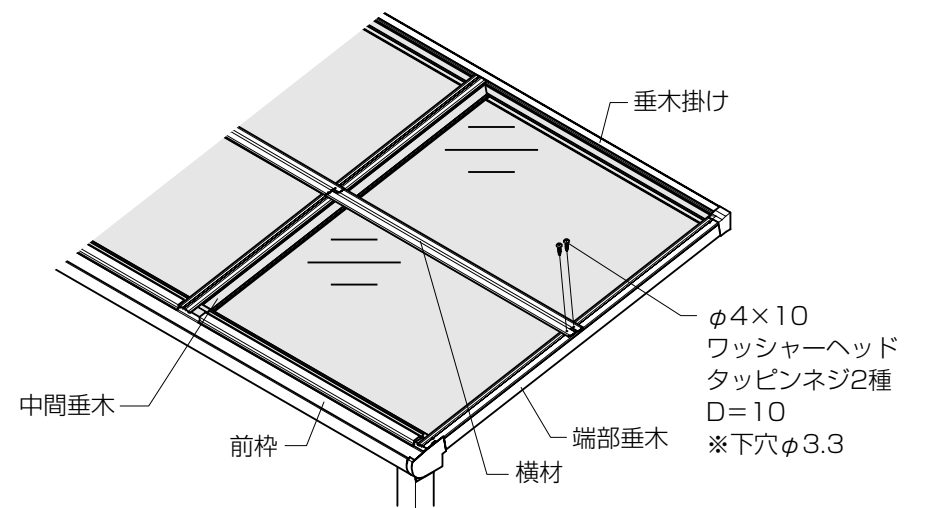
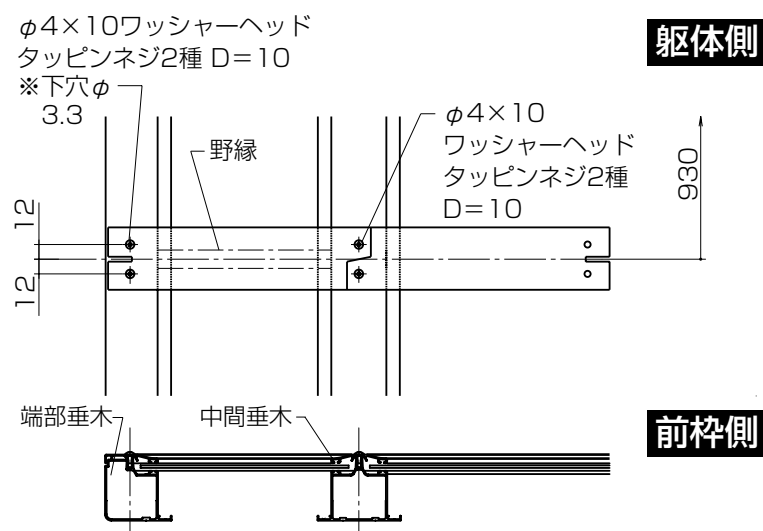
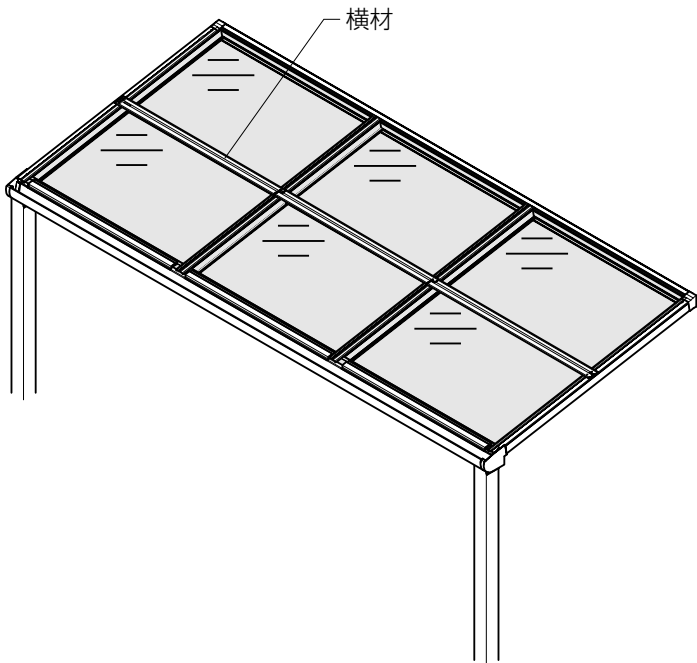
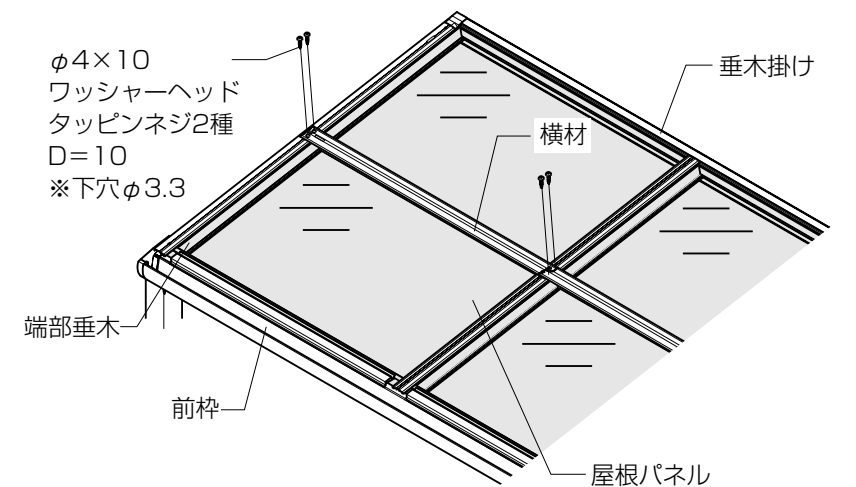
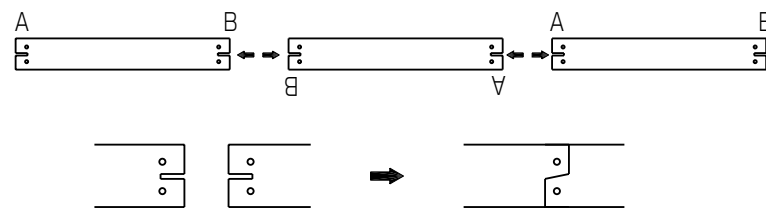
●横材必要サイズ

出幅	1F		2F	
	関東間	関西間 九州四国間	関東間	関西間 九州四国間
3尺	-	-	-	-
4尺	-	-	-	-
5尺	-	-	-	-
6尺	-	○	-	○

※横材は表の通り、関西・九州四国間の出幅6尺を取付ける場合に必要になります。間口サイズに合わせて必要数取付けてください。（横材はパネル1枚につき1本必要になります。）

1 横材の取付け

- ①垂木下図の個所にφ3.3の穴加工を施し、横材を取付けてください。
- 横材の2本目以後の取付けは、1本目の横材と反対向きにして、切り込み部分をかみあわせるように取付けてください。



■連棟タイプの場合1

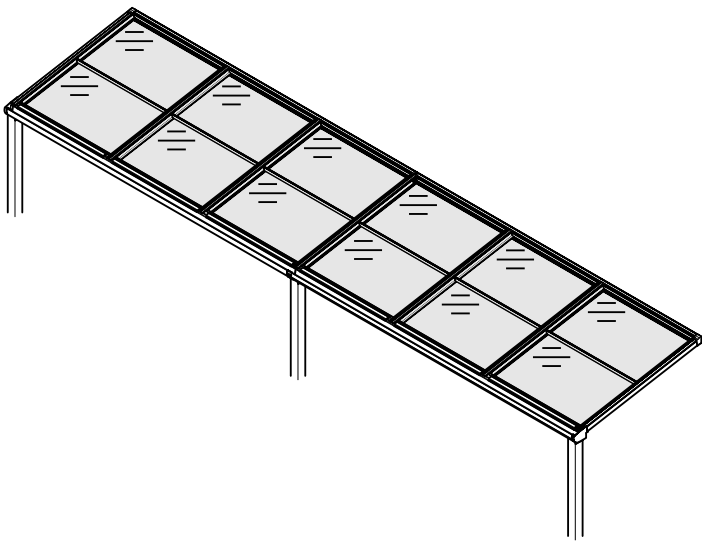
※連棟時の間口部材（前枠・垂木掛け）の切り詰めは不要です。

1 前枠の加工

2 垂木掛けの取付け

3 前枠・補強桁連結部の組立て……①前枠スリーブの取付け

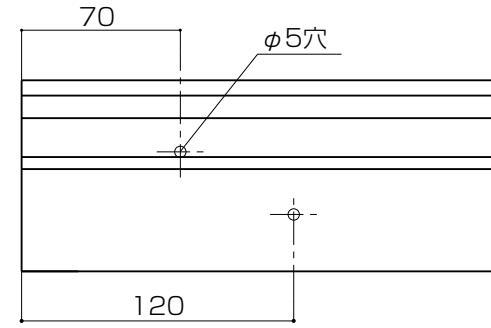
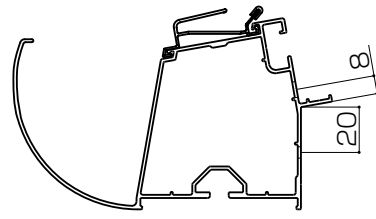
②前枠ジョイントカバーの取付け



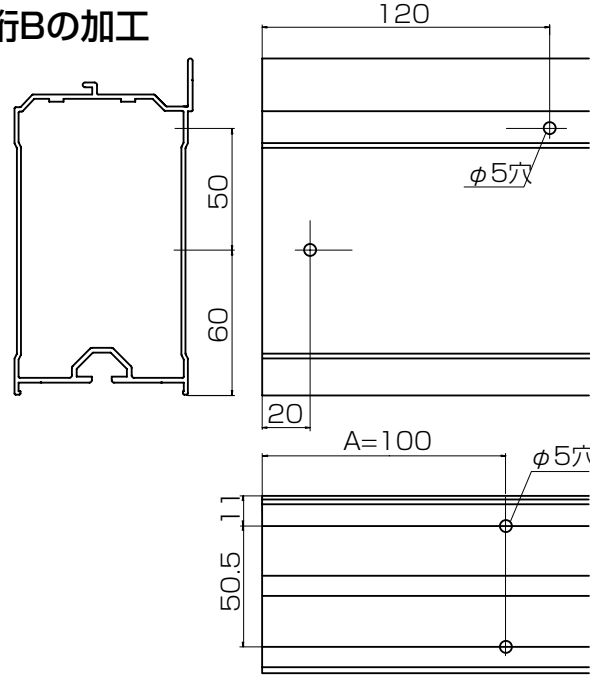
1 前枠の加工

①前枠・補強桁の連結する側の端部に図のようにφ5の穴をあけてください。

●補強桁付きの場合



●補強桁Bの加工

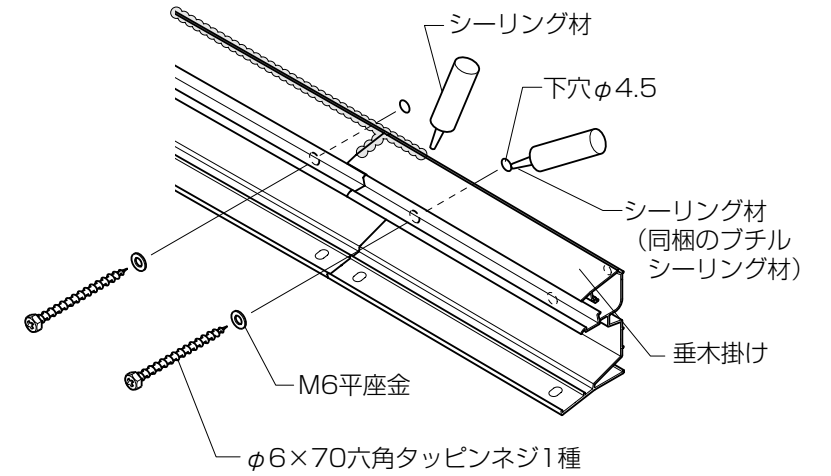


2 垂木掛けの取付け

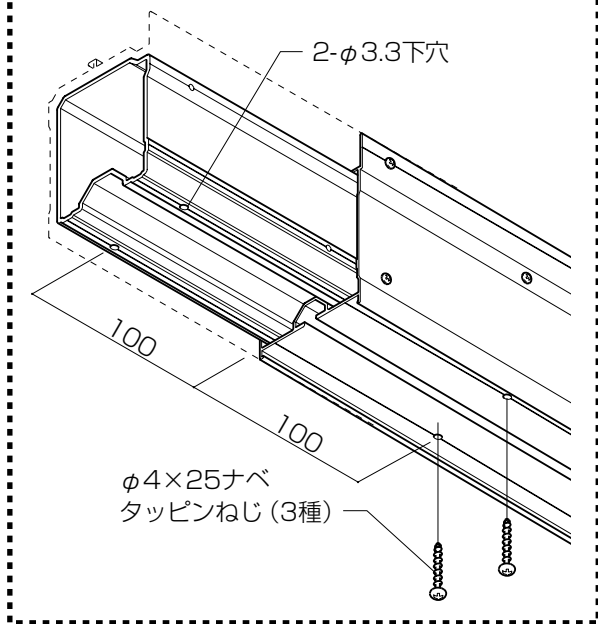
①垂木掛けの躯体取付け穴（φ6.5）を柱や間柱など躯体構造位置に合わせてあけ直した後取付けてください。

▲注意

●指定の個所に必ずシーリングしてください。



■B部詳細図



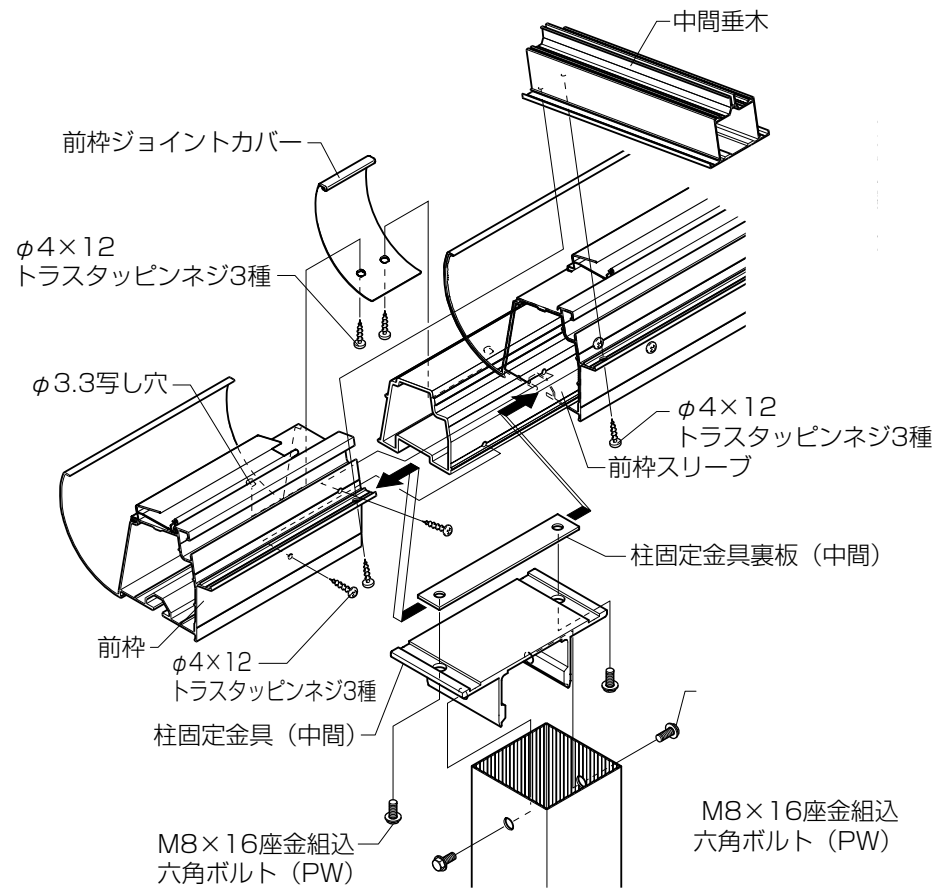
3 前枠連結部の組立て

- ①前枠を前枠スリーブにネジ止めします。
- ②補強桁付きの場合、補強桁を補強桁スリーブにねじ止めします。
- ③前枠ジョイントカバーをネジ止めします。

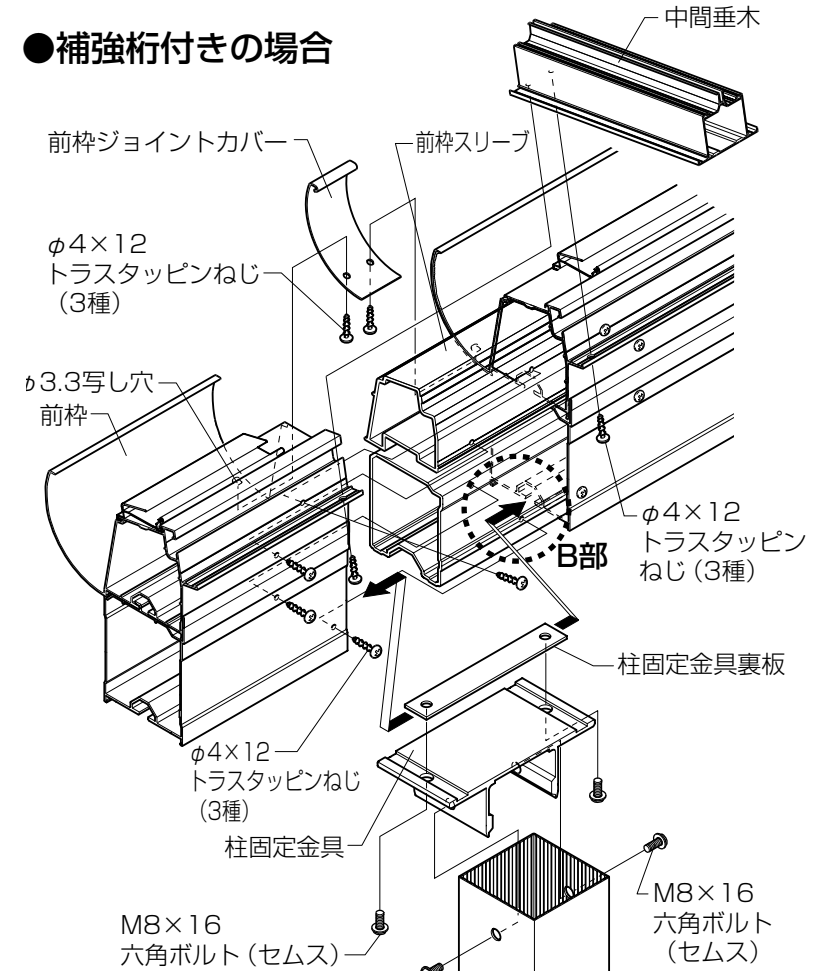
※連結部には垂木と柱が取付きます。

※連結の際、柱は連結部への取付けを基本としますが、止む得ない場合は、移動しても差し支えありません。

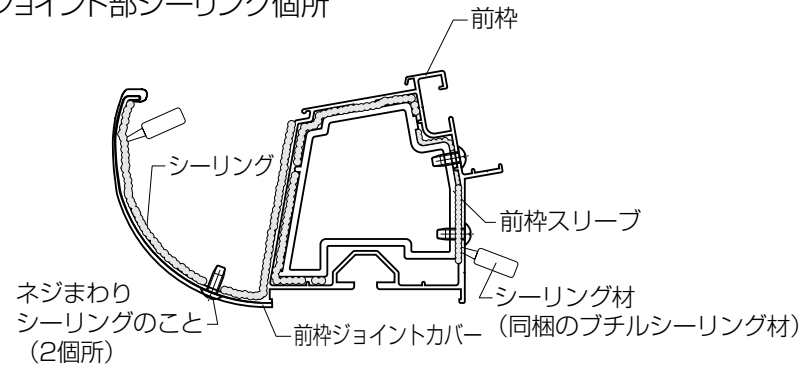
※前面スクリーン(オプション)を取付ける場合は、前枠ジョイントカバーは取付けしないでください。



●補強桁付きの場合



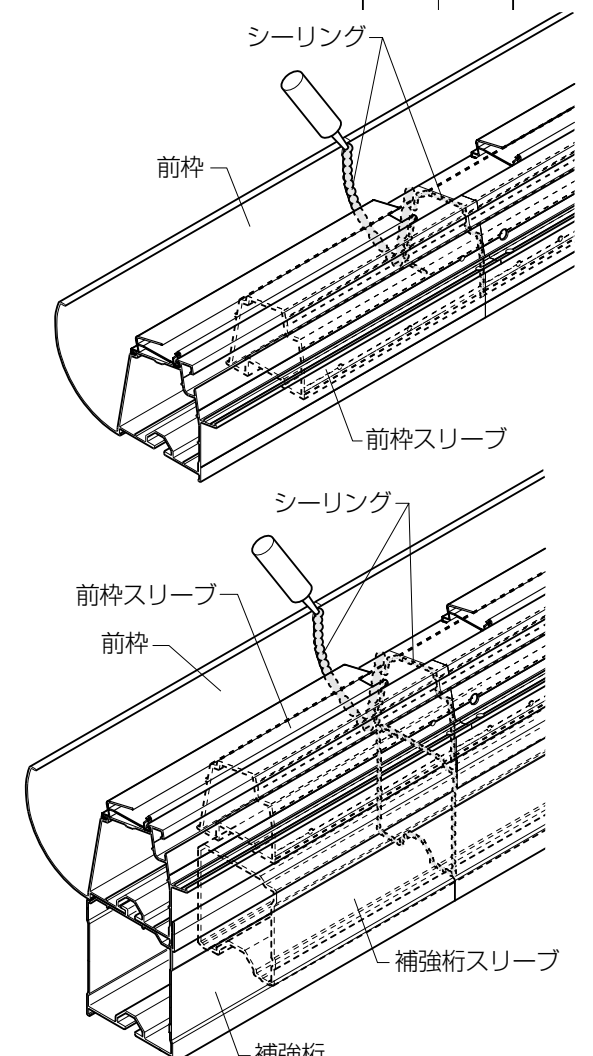
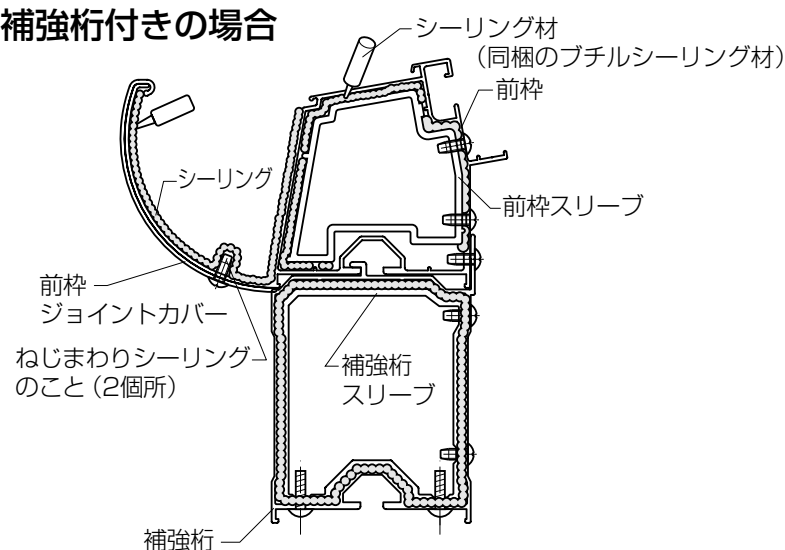
※ジョイント部シーリング箇所



▲注意

●指定の個所に必ずシーリングしてください。

●補強桁付きの場合



■連棟タイプの場合2 (600タイプ2.5間通しを使った連棟の場合)

※連棟時の間口部材 (前枠・垂木掛け) の切り詰めは不要です。

※「前枠の加工・垂木掛けの取付け」については「連棟タイプの場合1」と同じです。

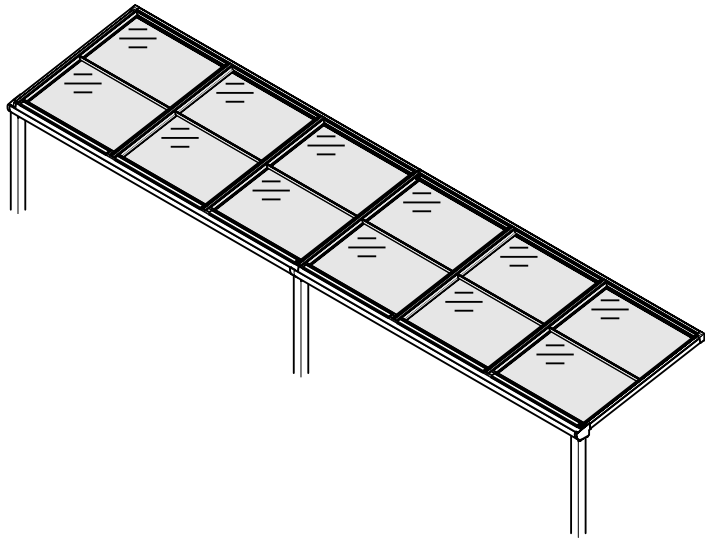
1 前枠の加工

2 前枠の組立て

3 垂木掛けの取付け

4 前枠連結部の組立て…… ①前枠スリーブの取付け

②前枠ジョイントカバーの取付け

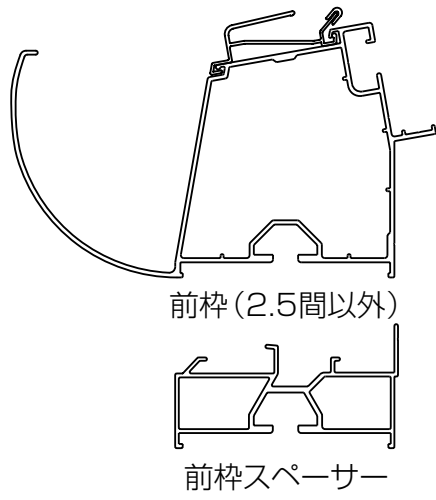


1 前枠の加工

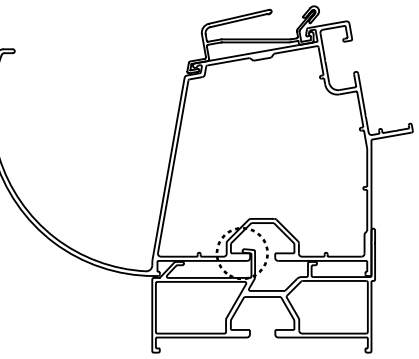
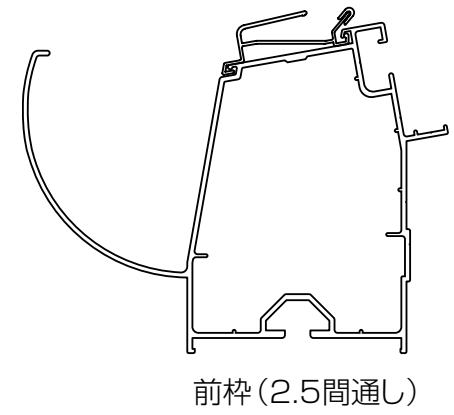
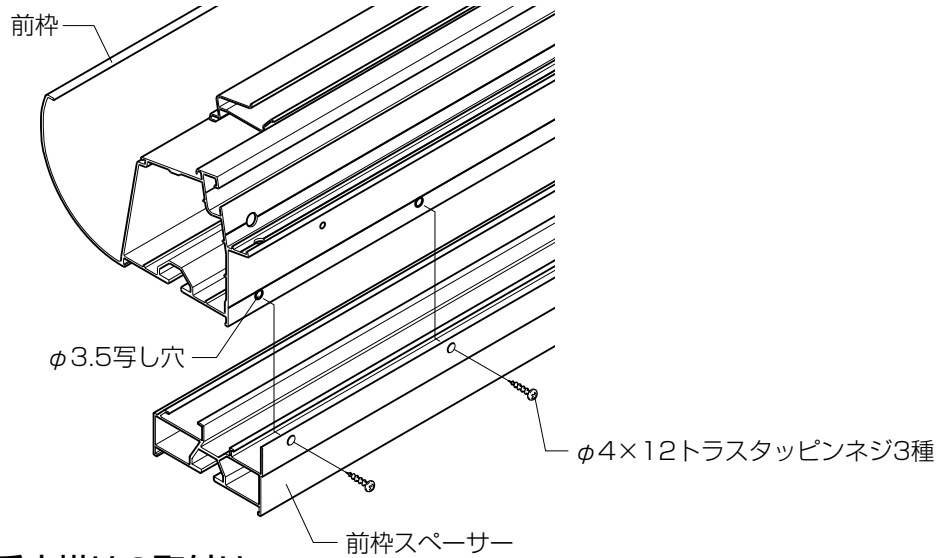
前枠の加工については「連棟タイプの場合1」を参照してください。

2 前枠の組立て

※600タイプ2.5間通しとの連結の場合、2.5間以外の前枠に前枠スペーサーを取付



①図のように標準の前枠スペーサーを合わせ、φ3.5の写し穴をあけ、固定してください。



※フィンが引っ掛かっていることを確認して、取付けてください。

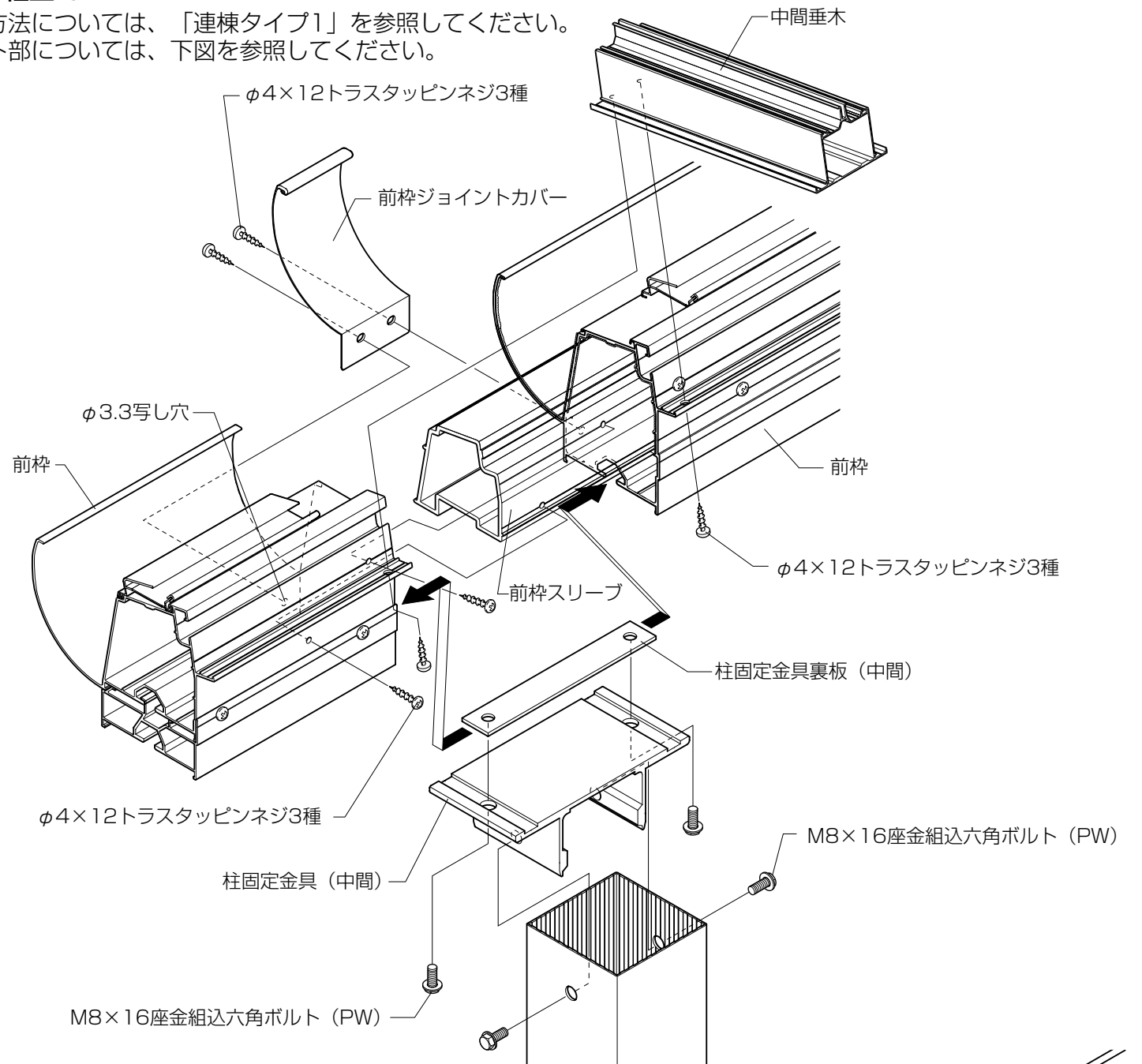
3 垂木掛けの取付け

垂木掛けの取付けについては「連棟タイプの場合1」を参照してください。

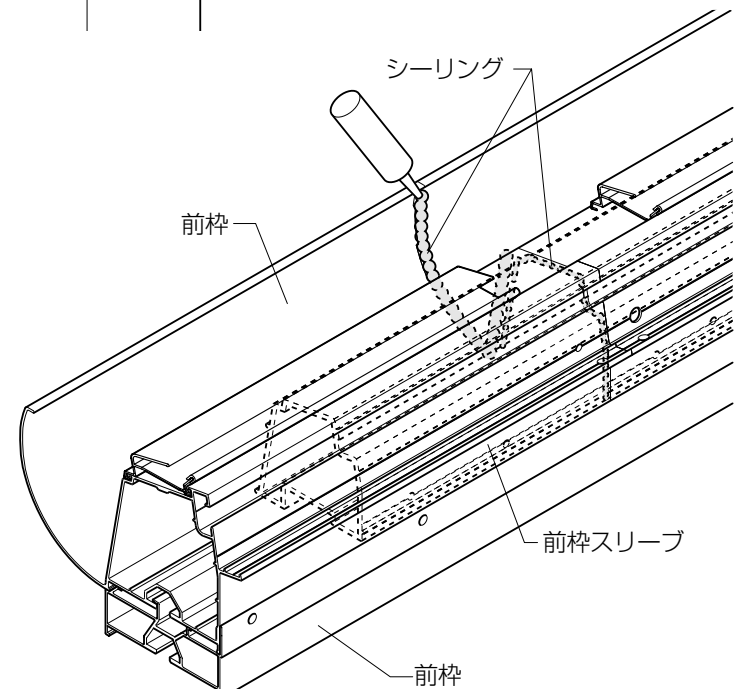
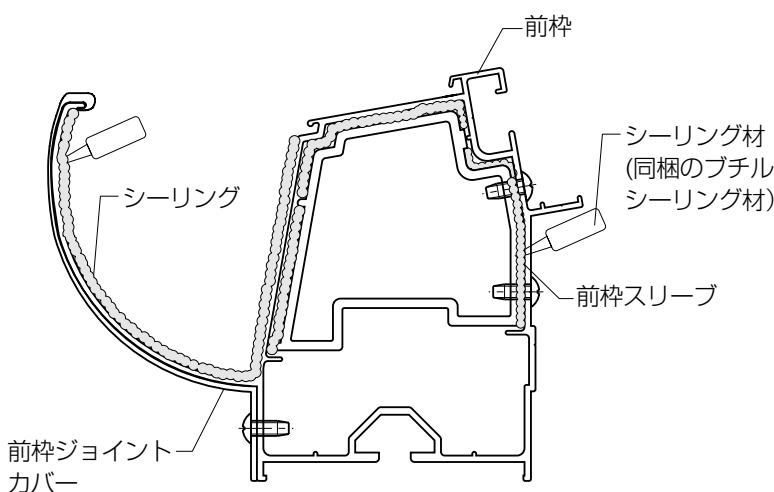
4 前枠連結部の組立て

連結部の取付け方法については、「連棟タイプ1」を参照してください。

※前枠ジョイント部については、下図を参照してください。



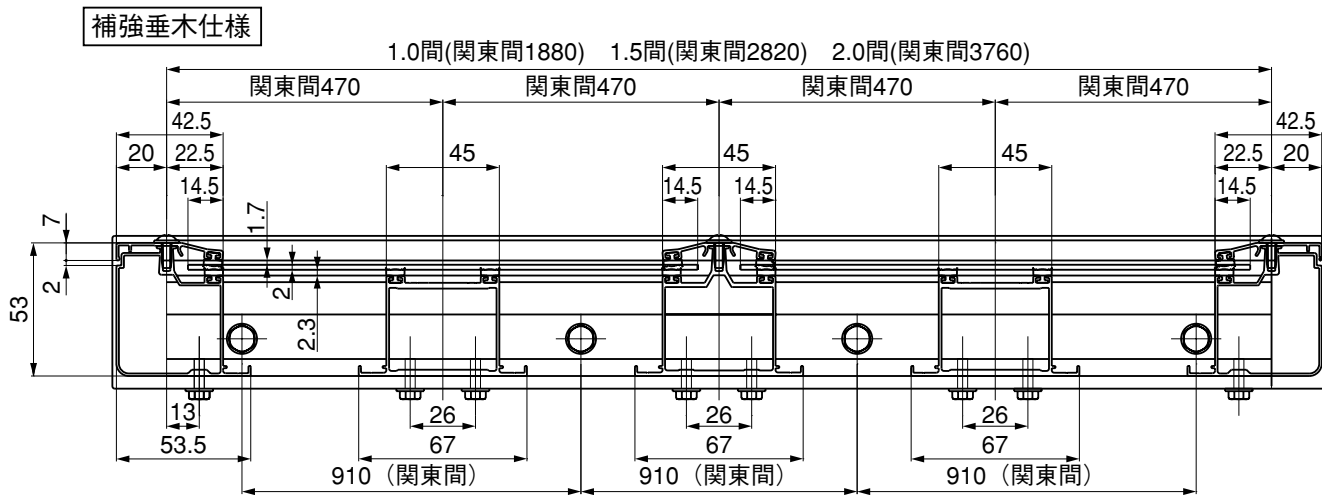
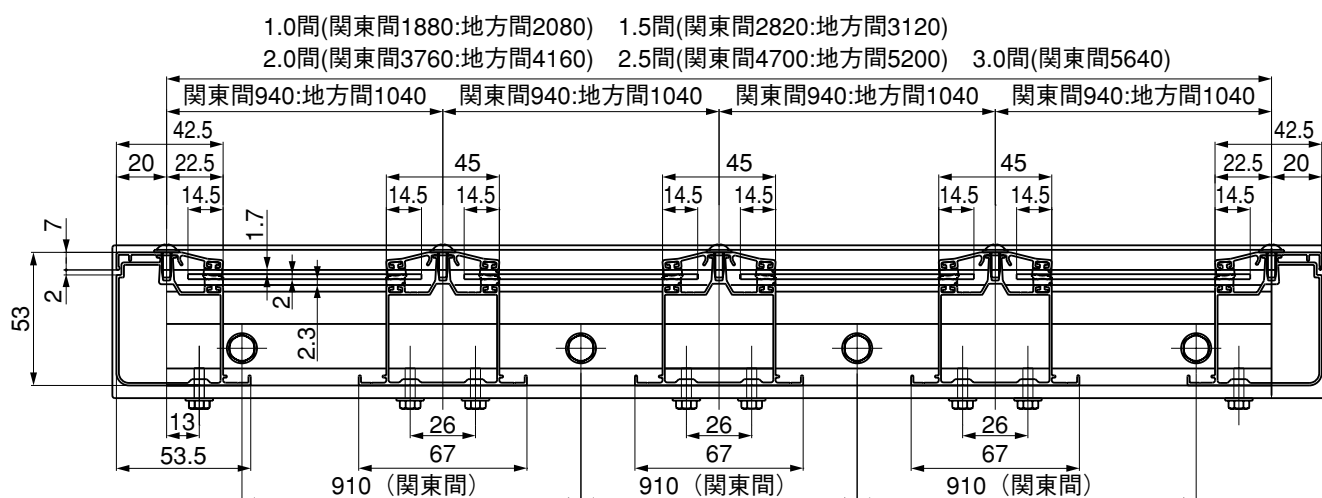
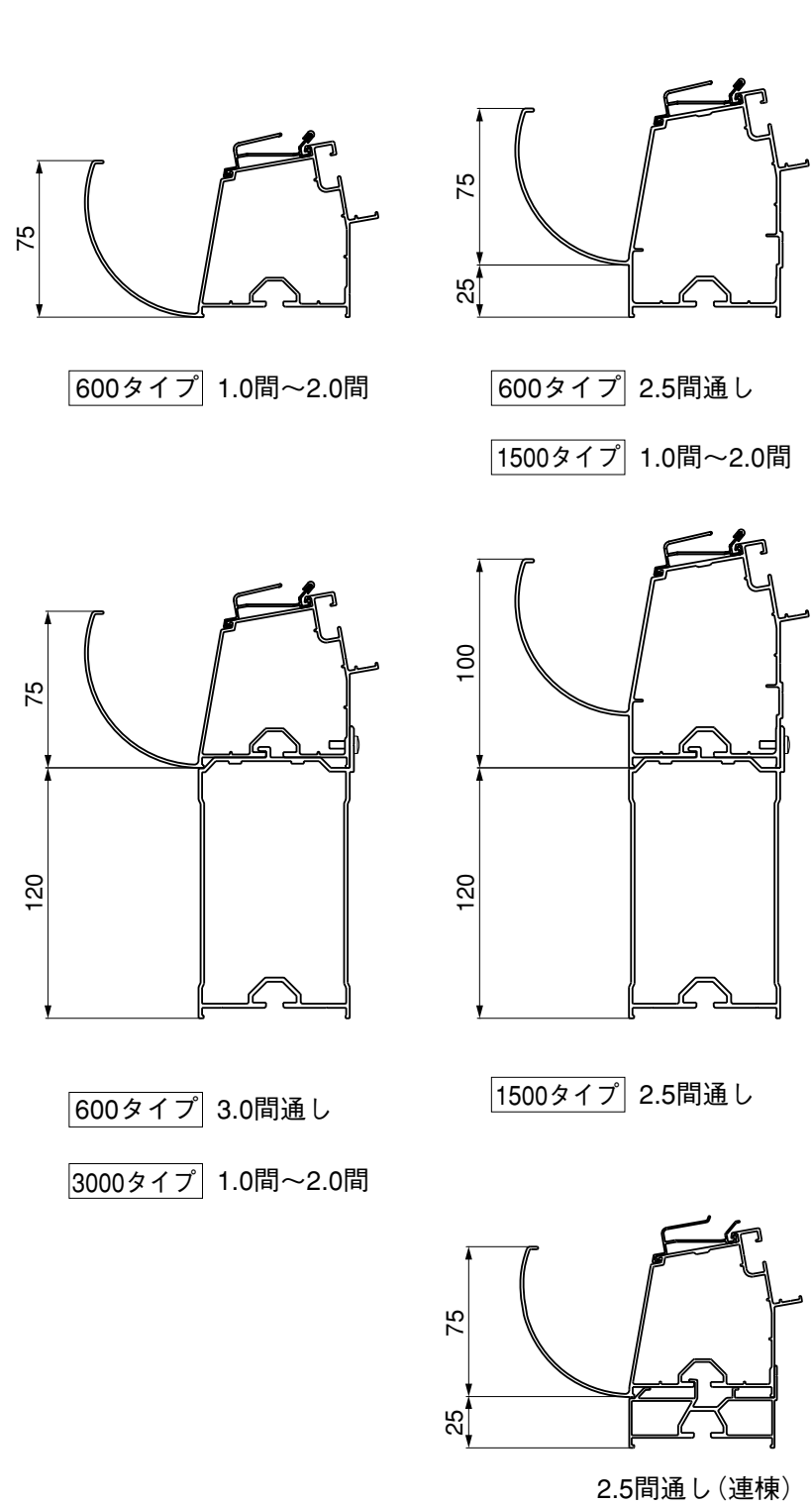
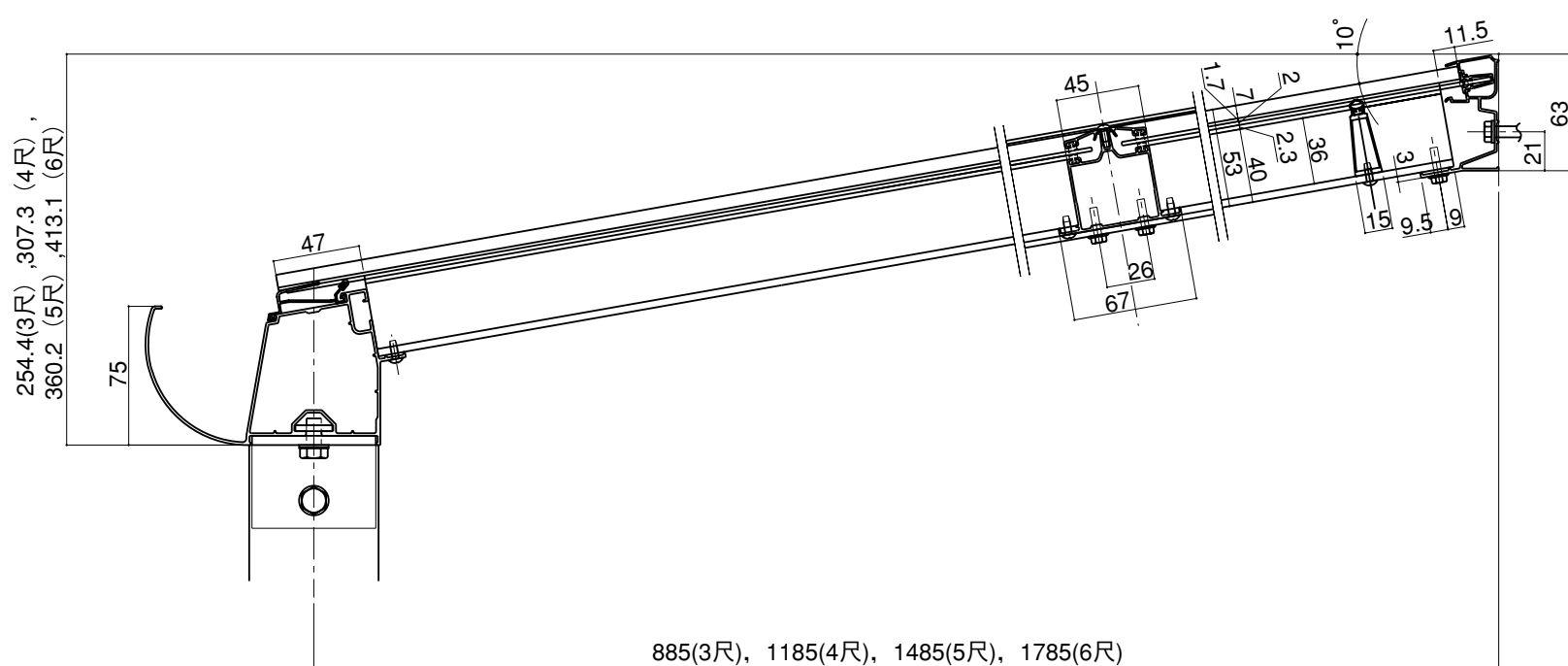
※ジョイント部シーリング箇所



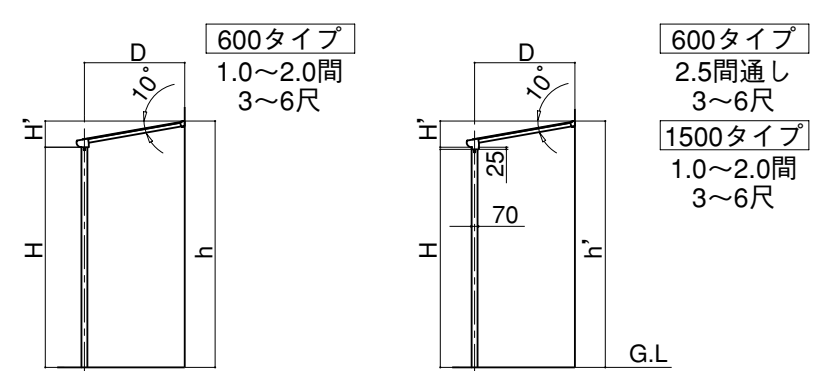
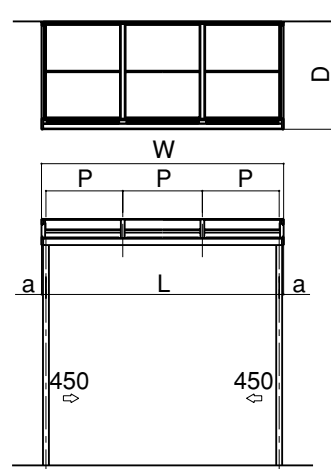
▲ 注意

●指定の個所に必ずシーリングしてください。

■納まり図



●単体

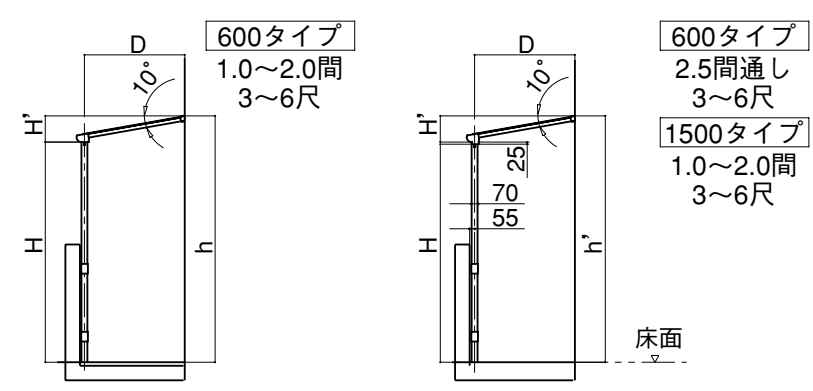


高さ

呼称	H	H'	h
3尺	2500	254.4	2754.4
4尺		307.3	2807.3
5尺		360.2	2860.2
6尺		413.1	2913.1

*h' 2.5間通しの場合は、h+25
 ※本図の柱の長さは標準柱を示します。
 長尺柱は標準柱の+600mmになります。

<柱を造り付けバルコニーに固定する場合>



高さ

呼称	H	H'	h
3尺	2250	254.4	2504.4
4尺		307.3	2557.3
5尺		360.2	2610.2
6尺		413.1	2663.1

*h' 2.5間通しの場合は、h+25
 ※本図の柱の長さは標準柱を示します。
 長尺柱は標準柱の+450mmになります。

間口(関東間) P=940

呼称	W	600タイプ		1500・3000タイプ	
		L	a	L	a
1.0間	1920	1850	35	1746	87
1.5間	2860	2755	52.5	2686	
2.0間	3800	3650	75	3626	
2.5間通し(600・1500タイプのみ)	4740	4605	67.5	4566	
3.0間通し(600タイプのみ)	5680	5506	87	-	

間口(関西間) P=1040

呼称	W	600タイプ		1500タイプ	
		L	a	L	a
1.0間	2120	2050	35	1946	87
1.5間	3160	3005	77.5	2986	
2.0間	4200	3960	120	4026	
2.5間通し(600タイプのみ)	5240	5055	92.5	-	

間口(九州・四国間) P=1040

呼称	W	600タイプ		1500タイプ	
		L	a	L	a
1.0間	2120	1945	87.5	1946	87
1.5間	3160	2900	130	2986	
2.0間	4200	3855	172.5	4026	
2.5間通し(600タイプのみ)	5240	4845	197.5	-	

出幅

呼称	D
3尺	885
4尺	1185
5尺	1485
6尺	1785

■ 梱包明細書

16 600タイプ部品セット (単体)

Table with 20 columns for dimensions (3R, 4R, 5R, 6R) and 4 columns for intervals (1.0, 1.5, 2.0, 2.5). Rows include components like caps, bolts, washers, and rain gutter parts.

17 600タイプ部品セット (連棟)

Table similar to 16, but with 1.0, 1.5, 2.0, and 2.5 intervals each having 4 sub-columns for dimensions 3R, 4R, 5R, and 6R.

18 1500タイプ部品セット (単体)

Table similar to 16, but with 1.0, 1.5, 2.0, and 2.5 intervals each having 4 sub-columns for dimensions 3R, 4R, 5R, and 6R.

19 1500タイプ部品セット (連棟)

Table similar to 18, but with 1.0, 1.5, 2.0, and 2.5 intervals each having 4 sub-columns for dimensions 3R, 4R, 5R, and 6R.

■ 梱包明細書

20 3000タイプ部品セット (単体)

名 称	員 数											
	1.0間				1.5間				2.0間			
	3尺	4尺	5尺	6尺	3尺	4尺	5尺	6尺	3尺	4尺	5尺	6尺
前枠端部キャップ(右)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
前枠端部キャップ(左)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
垂木掛け端部キャップ(右)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
垂木掛け端部キャップ(左)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
φ4×12トラスタッピンネジ3種	17	17	26	26	26	26	39	39	35	35	51	51
φ4×10ワッシャーヘッドタッピンネジ2種 D=10	23	29	36	42	30	39	47	55	38	48	58	68
M4×12(+六角)ボルト	8	8	8	8	13	13	13	13	17	17	17	17
M4平座金	8	8	8	8	13	13	13	13	17	17	17	17
φ6×70六角タッピンネジ1種	3	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5	5
M6平座金	3	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5	5
ブチルシーリング材	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
φ4×12トラスタッピンネジ1種	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
取付説明書	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
雨樋アタッチメント	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
穴ふさぎキャップ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
雨樋パッキン	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
エルボ (92°)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
ドレンエルボ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
でんでん	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
接着剤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
φ4×14トラスタッピンネジ3種	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7

21 3000タイプ部品セット (連棟)

名 称	員 数											
	1.0間				1.5間				2.0間			
	3尺	4尺	5尺	6尺	3尺	4尺	5尺	6尺	3尺	4尺	5尺	6尺
前枠ジョイントカバー	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
φ4×12トラスタッピンネジ3種	24	24	32	32	32	32	45	45	41	41	57	57
φ4×10ワッシャーヘッドタッピンネジ2種 D=10	15	19	24	28	23	29	36	42	30	39	47	55
M4×12(+六角)ボルト	8	8	8	8	13	13	13	13	17	17	17	17
M4平座金	8	8	8	8	13	13	13	13	17	17	17	17
φ6×70六角タッピンネジ1種	3	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5	5
M6平座金	3	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5	5
ブチルシーリング材	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
雨樋アタッチメント	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
穴ふさぎキャップ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
雨樋パッキン	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
エルボ (92°)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
ドレンエルボ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
でんでん	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
接着剤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
φ4×14トラスタッピンネジ3種	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7

22 桁キャップセット

名 称	員 数	
	補強桁BC	
補強桁BC端部キャップ	2	
φ4×12トラスタッピンネジ3種	2	

23 横材セット

名 称	員 数		
	1.0間	1.5間	2.0間
横材 (L=1073mm)	2	3	4
φ4×10ワッシャーヘッドタッピンネジ2種 D=10	6	8	10

24 長さ連結材セット (桁用)

名 称	員 数
補強桁スリーブ	1
φ4×12トラスタッピンネジ3種	4
φ4×25ナベタッピンネジ3種	4

25 アクリル・ポリカーボネート・熱線遮断ポリカーボネート屋根パネルセット

名 称	員 数											
	3尺			4尺			5尺			6尺		
	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	3枚入	4枚入
パネル3尺 (関東間/1029.5×924 t=2.0) (関西 九州・四国間/ 1029.5×1024 t=2.0)	2	3	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
パネル4尺 (関東間/1334×924 t=2.0) (関西 九州・四国間/ 1334×1024 t=2.0)	—	—	—	2	3	4	—	—	—	—	—	—
パネル5尺 (関東間/1638.5×924 t=2.0) (関西 九州・四国間/ 1638.5×1024 t=2.0)	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—
パネル6尺 (関東間/1943.5×924 t=2.0) (関西 九州・四国間/ 1943.5×1024 t=2.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	4